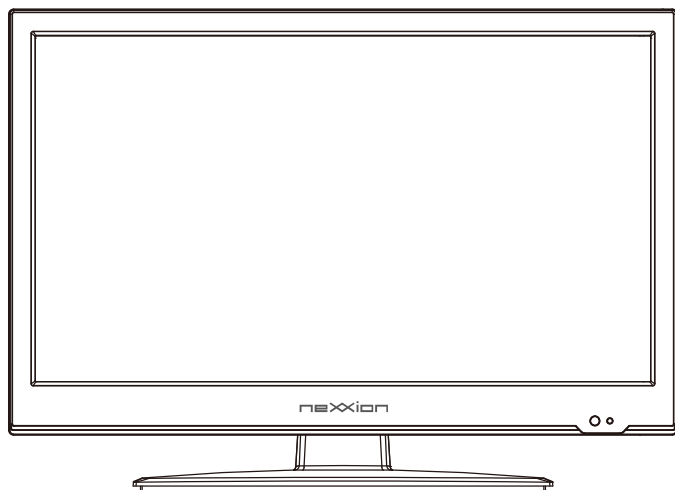


nexxion

19V型/24V型 地上波デジタルハイビジョン液晶テレビ

取扱説明書

型番 WS-TV1957B/2459B



お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は大切に保管しておいてください。弊社サポートセンターにお問い合わせの際には製品背面のラベルに記載されております製品型番と製品番号をお確かめください。

安全上のご注意

使用上のご注意

付属品

各部の名称

リモコンの操作

テレビをみるための準備

アンテナの接続
B-CASカードを挿入する
はじめての設定

テレビをみる

テレビをつける・消す／その他表示
その他表示／設定

番組表をつかう

番組表をみる
番組表メニュー

テレビの設定

メニュー画面操作／番組説明／
タイマー機能／画面サイズ切替／
映像設定／音声設定／
その他の設定／設定

外部機器との接続

HDMI対応機器を接続する
ビデオ映像端子を使って機器を接続する
スピーカーやイヤフォン/
ヘッドフォンを接続する

故障かも・・・と思ったら

アフターサービス

製品仕様

お問い合わせ

付録

目次 (詳細)

| | |
|--|------------------------|
| 安全上のご注意 | P4-P6 |
| 使用上のご注意 | P7-P8 |
| 付属品 | P9 |
| 各部の名称 | P10-P11 |
| リモコンの操作 | P12-P13 |
| アンテナの接続 | P14 |
| テレビをみるための準備 | B-CASカードを挿入する P15 |
| はじめての設定 | P16-P17 |
| テレビをみる | テレビをつける・消す/その他表示 P18 |
| その他表示/設定 | P19-P20 |
| データ放送をみる | P21 |
| 番組表をつかう | 番組表をみる P22-P23 |
| 番組表メニュー | P24-P25 |
| メニュー画面を操作/番組説明/タイマー機能 | P26 |
| タイマー機能 | P27 |
| 画面サイズ切換/映像設定 | P28 |
| テレビの設定 | 映像設定/音声設定 P29 |
| その他の設定 | P30-P31 |
| 設定 | P32-P41 |
| HDMI対応機器を接続する | P42 |
| 外部機器との接続 | ビデオ映像端子を使って機器を接続する P43 |
| スピーカーやイヤフォン/ヘッドフォンを接続する | P44 |
| 故障かも・・・と思ったら | P45-P46 |
| アフターサービス | P47 |
| 製品仕様 | P48 |
| お問い合わせ | P49 |
| その他 | ソフトウェアのライセンス情報 P50 |
| ソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンス アグリーメント原文 | P51-P65 |

はじめに

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、安全に使用していただくために本取扱説明書を必ずお読みください。
ご理解いただけず万が一、損害を被られた場合、当社では一切の責任を負いかねます。

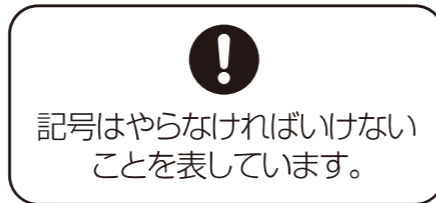
必ず最初にお読みください

ご使用前にこの「安全上のご注意」を必ずよくお読みいただき、製品を安全に正しくご使用ください。

この取扱説明書および商品には、お客様や他の人々への危害または財産への損害を未然に防止し、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。表示と図記号は次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 この絵表示は人が死亡または重症を負うおそれがある内容を表示しています。

注意 この絵表示は人がけがをしたり財産に損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。



警告

異常や故障のおそれがあるとき

- ❗ 煙やにおい、音などの異常が発生したら、ただちに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。お買い上げ店または弊社サポートセンター（TEL：0570-022-336）までご連絡ください。
- ❗ 内部に水や異物が入ったときは、ただちに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- ❗ 電源コードや電源プラグが損傷したり、発熱したりしたときは、ただちに電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- ❗ キャビネットや液晶パネルを落としたり、ぶつけたりして破損したときは、ただちにプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。本体を破損したまま取り扱っていると、けがのおそれがあります。お買い上げ店または弊社サポートセンター（TEL：0570-022-336）までご連絡ください。

設置するとき

- ⊘ ぐらつく台、傾いた台など不安定な場所に置かないでください。落下、転倒により、けがの原因となります。
- ⊘ 風呂場やシャワー室、キッチンやサウナなど水気がある場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ⊘ アンテナ工事は技術と経験が必要ですのでご自分では決して行わないでください。

必ず最初にお読みください

警告

使用するとき

- ⊘ 交流100V以外の電源で使わないでください。交流100V以外の電源で使用すると火災、感電の原因となります。
- ⊘ 異物を入れないでください。通風孔などからものを入れると、火災や感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- ⊘ 電源コードの上に重いものを乗せたり、本機の下敷きにししないでください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- ⊘ 電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱しないでください。電源コードが損傷した場合は新しいものと交換してください。
- ⊘ 電源コードを熱器具に近づけないでください。ビニールの被覆が溶けて、火災、感電の原因となります。
- ⊘ 電源コードを抜く際には、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが損傷し、火災、感電の原因となります。
- ⊘ 雷が鳴り出したら、アンテナケーブルや電源ケーブルに触れないでください。感電の原因となります。
- ⊘ テレビの裏蓋をはずしたり、改造や分解をしないでください。テレビ内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。

| | |
|--|---|
| ⚠ 警告 ⚠ | ⚠ CAUTION ⚠ |
| 高圧注意 感電の危険がありますので裏ぶたを開けないでください。 | RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN |

- ❗ 電源プラグの付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜き、乾いた布で取り除いてください。火災、感電の原因となります。

注意

設置するとき

- ⊘ 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部の熱が逃げなくなり火災の原因となることがあります。
 1. 風通しのよくないところに入れたり、カーテンや布団、布などをかけたりしないでください。
 2. 周囲の家具や壁から10cm以上の間隔をあけて設置してください。
- ⊘ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かないでください。調理器具や加湿器などのそばに置くと火災、感電の原因となることがあります。

必ず最初にお読みください

必ずお守りください

注意

使用するとき

- ❌ めれた手で電源プラグを取り扱わないでください。感電の原因となります。
- ❌ タコ足配線をしないでください。火災、感電の原因になることがあります。
- ❌ 電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しないでください。不完全な接続は発熱して火災の原因となります。
- ❌ 移動するときは、接続コード類をすべてはずしてください。接続コード類をはずさずに移動させると、電源コードが傷つき、火災、感電、けがの原因となることがあります。
- ❌ お手入れするときや長時間使用しないときは電源プラグを抜いてください。火災、感電の原因になることがあります。
- ❌ スタンドの下にものを置かないでください。火災、感電の原因になることがあります。スタンドの下にものを置いた場合、転倒しやすくなり、液晶パネルが割れたり、故障の原因となることがあります。
- ❌ 液晶画面をたたくなどの衝撃を与えないでください。液晶パネルが割れて、火災、感電の原因になることがあります。
- ❌ リモコンには指定以外の電池や新しい電池を古い電池と混ぜて使わないでください。破裂や液漏れにより、火災、感電の原因になることがあります。
- ❗ リモコンに電池を入れるときは極性(プラスマイナス)の向きに注意してください。破裂したり液漏れにより、火災、感電の原因になることがあります。
- ❗ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に接続してください。接続が不完全ですと発熱やほこりが付着して火災、感電の原因になることがあります。また、電源プラグに触れると感電することがあります。

知っておいていただきたいこと

本体が熱くなる場合があります
長時間使用すると、熱を逃がすために本体が熱くなる場合があります。ご注意ください。

国外では使用できません
この製品が使用できるのは日本国内だけです。国外では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

液晶パネルのドット欠けについて
液晶モニターは90万~220万の画素により画面が表示されていますが、製造過程において画素にいくつかの欠けが出る場合があります。液晶パネル上に黒点(点灯しない点)または白点(点灯したままの点)などのドット欠けが見られる場合がありますが、これは液晶パネルの製造上、回避できない現象であり、欠陥品ではございません。このようなドット欠けにつきましては返品や修理の対象外となりますのであらかじめご了承ください。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのやりかた
キャビネットにはプラスチックが多く使用されています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると変質し、塗料がはげる場合がありますので使用しないでください。
殺虫剤など、揮発性のものを使用しないでください。また、ゴムやビニール製品などを長い時間接触させたままにしないでください。プラスチックに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
汚れはネルなどの柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げをしてください。

電源・電圧について
指定の電源電圧以外では使わないでください。
指定以外の電源電圧を使用した場合は故障の原因となります。

取り扱い上のご注意
液晶パネルを強く押さえないように、また、落としたり叩くなどの強い衝撃を与えないようにしてください。液晶パネルが割れ、けが、故障の原因となり危険です。振動の激しいところや不安定なところに置かないようお願いします。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

B-CASカードの抜き差しについて
地上デジタル放送は著作権保護のためB-CASカードを挿入していないとスクランブルがかかり視聴することができません。B-CASカードは必要のない限り、抜かないでください。B-CASカードにはICチップが内蔵されていますので、折り曲げたり、衝撃を与えたり、端子部に触れたりしないようにしてください。B-CASカードは正しい向きでしっかりと挿入してください。

アンテナについて
妨害電波受信の影響を避けるため、交通の頻繁な道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
アンテナ線を不必要に長くのばしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になるおそれがあります。
アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧いただけます。特に煤煙の多いところや潮風にさらされる場所では、アンテナが痛みやすくなります。

必ずお守りください

知っておいていただきたいこと

電磁波妨害にご注意ください

製品の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起これ、映像が乱れたり雑音が発生することがあります。

画面の焼き付きについて

静止画など長時間同じ画面を表示し続けたり、16:9の映像を画面比率4:3で長時間ご覧になったりすると、液晶パネルに焼き付きが生じることがありますのでご注意ください。視聴時にはフルスクリーンでのご視聴をお勧めします。

直射日光・熱気は避けてください

窓を閉め切った自動車の車内など異常に温度が高くなるところに放置をすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となるおそれがあります。

直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は表示品位が低下する場合がありますのでご注意ください。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

ご使用になる部屋(場所)の温度が低温の場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが故障ではありません。常温に戻れば回復します。

低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因になります。
(保存温度:0℃~+60℃ / 使用温度:0℃~+35℃)

ステッカーやテープなどを貼らないでください

キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長時間ご使用にならない場合

長時間ご使用にならないと機能に支障をきたすことがあります。ときどき電源を入れて作動させてください。

製品本体および添付品廃棄の場合

各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

付属品

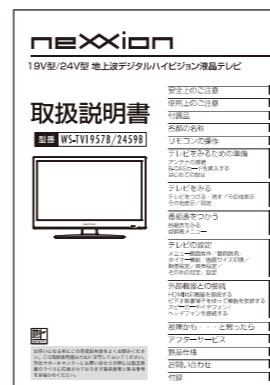


付属品をご確認ください。

本製品をお使いになる前に、付属品を確認してください

本製品をお取り扱いになる前に、以下のものが全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損しているものがある場合はお買い上げ店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

取扱説明書(本書)



リモコン



mini B-CASカード



※台紙から外してご使用ください。
※カードのID番号は大切に保管してください。

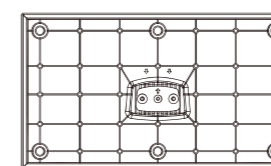
リモコン用乾電池2本
(単4形・動作確認用)



保証書



スタンド



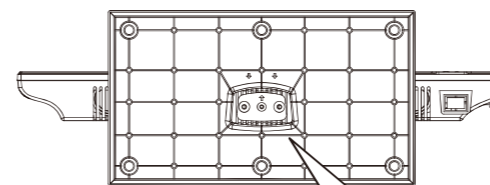
スタンド取付用ネジ(2コ)



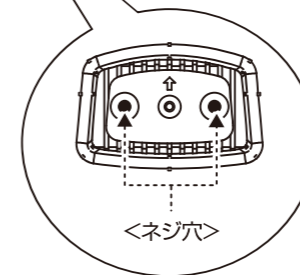
スタンドの組み立て方

1. 本体に取り付ける、台座の向きとねじ穴を確認

<本体ディスプレイ側>



(本体底面)

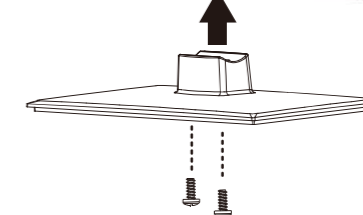
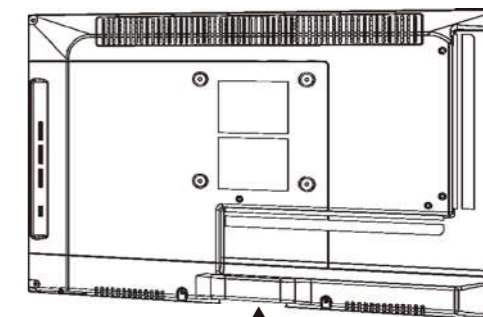


<ネジ穴>

市販のプラスドライバーをご用意ください。

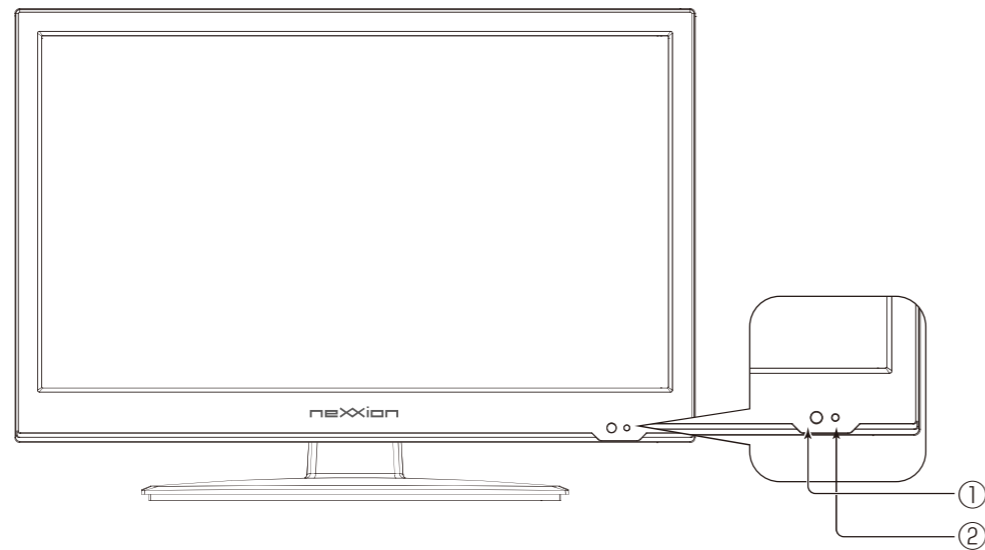
2. スタンド裏側から2箇所ネジでとめる。

※ネジは付属品です。
※ゆるみの無いようにしっかりと取り付けてください。

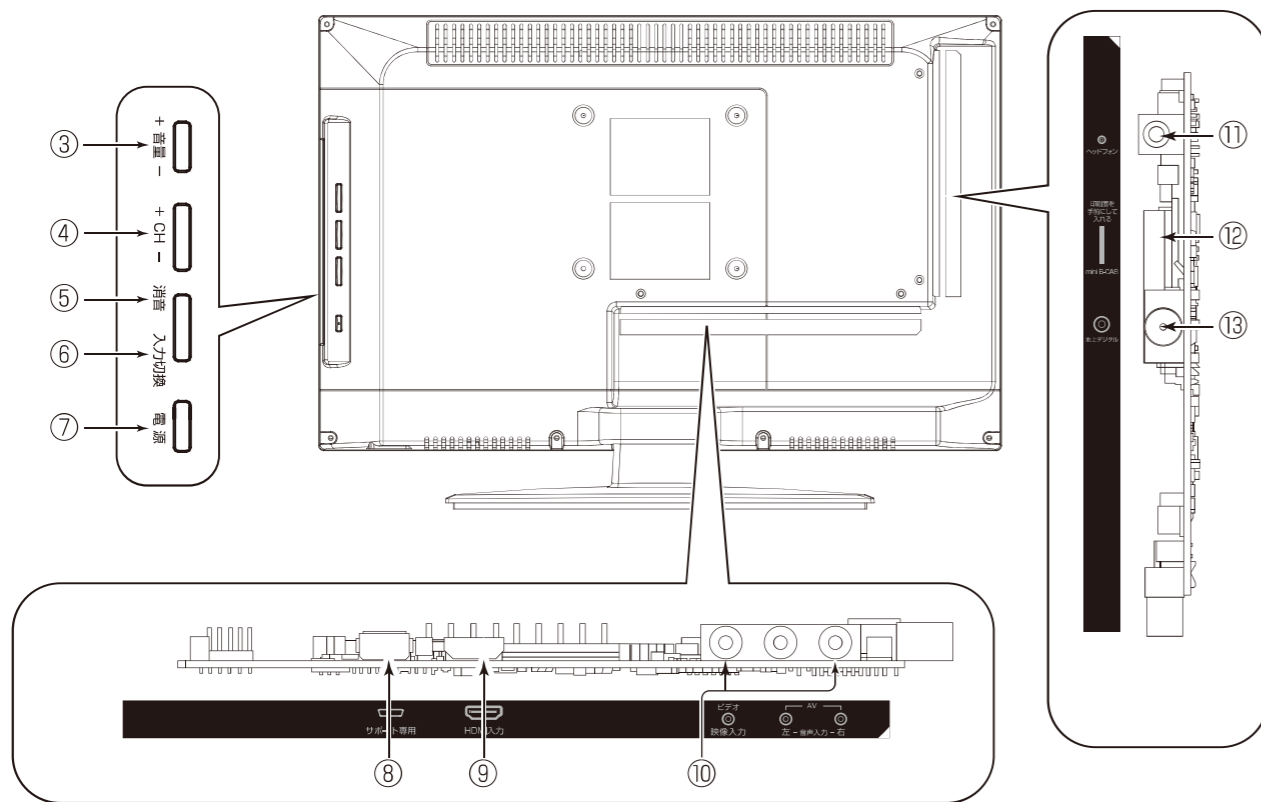


各部の名称

<前面>



<背面>



上図は本製品の略図です。図は実際の製品とは異なることがあります。

各部の名称

① リモコン受信部

リモコンの信号を受信する部分です。
※リモコンは受信部に向けて操作してください。
また、受信部近くに遮へい物を置かないようにしてください。

② 電源表示ランプ

電源がオンのときは緑色に点灯します。
電源がスタンバイ状態のときは赤色に点灯します。

③ VOL+ (音量+) / VOL- (音量-)

音量の調整に使用します。

④ CH+ (チャンネル+) / CH- (チャンネル-)

チャンネルの選択に使用します。

⑤ 消音ボタン

一時的に音を消します。
もう一度ボタンを押すと解除されます。

⑥ 入力切換ボタン

地デジ、ビデオ、HDMIの入力切換をおこないます。

⑦ 電源ボタン

電源のオン/オフに使用します。

⑧ サポート専用端子

お客様はご使用になれません。

⑨ HDMI入力端子

HDMIケーブル(市販品)を接続します。

⑩ AV入力端子

AVケーブル(市販品)を接続します。

⑪ イヤホン/ヘッドフォン端子

イヤホン/ヘッドフォン(市販品)を接続します。











⑫ mini B-CASカード挿入口

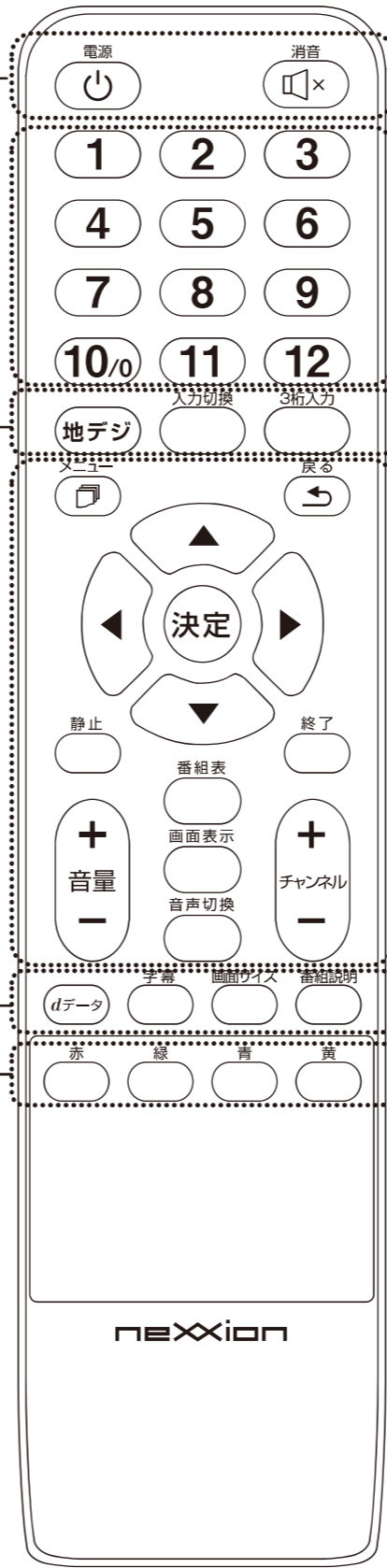
mini B-CASカードを挿入します。
※カードの向きにご注意ください。

⑬ アンテナ入力端子 (地上デジタル)

アンテナ線(市販品)で壁などのアンテナ端子と接続します。

リモコンの操作

| | |
|---|--|
|  | 電源プラグがコンセントに差し込まれている状態で押すと、スタンバイ状態の時はスタンバイ解除、電源が入っている時はスタンバイ状態になります。 <small>詳しくは P18へ</small> |
|  | 一時的に音を消します。もう一度ボタンを押すと解除されます。 <small>詳しくは P18へ</small> |
|  | 地デジ以外の映像入力の時に押すと、地デジモードになります。 <small>詳しくは P20へ</small> |
|  | ボタンを押すごとに、地デジ、ビデオ、HDMIの順で入力切替を行います。 <small>詳しくは P42-44へ</small> |
|  | チャンネル固有の番号を入力して、チャンネルを選択する時に使用します。 <small>詳しくは P18へ</small> |
|  | データ放送を表示します。 <small>詳しくは P21へ</small> |
|  | 受信している放送が字幕放送の場合、字幕を表示します。 <small>詳しくは P20へ</small> |
|  | 画面サイズをお好みの設定に切り換えることができます。 ※放送によってはサイズ切替ができない場合があります。 <small>詳しくは P20へ</small> |
|  | 番組視聴中にボタンを押すと、画面に番組内容が表示されます。 <small>詳しくは P19へ</small> |
|  | メニュー画面、電子番組表等で、割り当てられている操作を実行します。 |



| | |
|---|---|
|  | 各番号に割り当てられたチャンネルに切り換わります。 <small>詳しくは P18へ</small> |
|  | |
|  | メニュー画面を表示します。 <small>詳しくは P26-41へ</small> |
|  | 表示されているメニュー画面などを1つ前の画面に戻すことができます。 |
|  | 映像画面のみを静止することができます。 <small>詳しくは P20へ</small> |
|  | メニュー画面、入力切替画面、画面表示、番組表などを終了させるときに使用します。 |
|  | 音量の調整に使用します。 <small>詳しくは P18へ</small> |
|  | 現在放送している番組から、それ以降に放送予定の番組一覧表が表示されます。 <small>詳しくは P22へ</small> |
|  | 現在の受信チャンネル情報を表示することができます。 <small>詳しくは P18へ</small> |
|  | 地上デジタル放送の2カ国語放送や音声多重放送受信時に音声言語を切り換えます。 ※放送によっては音声言語が切り換えできない場合があります。 <small>詳しくは P19へ</small> |
|  | チャンネルの切替に使用します。 <small>詳しくは P18へ</small> |

電池の入れ方

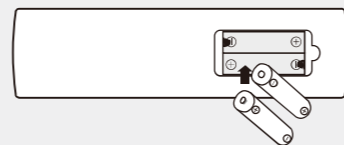
リモコンには単4電池2本が必要です。

1 リモコン背面の電池カバーを取り外してください。 持ち上げ式



2 電池の向きに注意して電池を入れ、カバーを元に戻します。

※リモコンは本体受信部から5メートル以内左右30度以内でご使用ください。



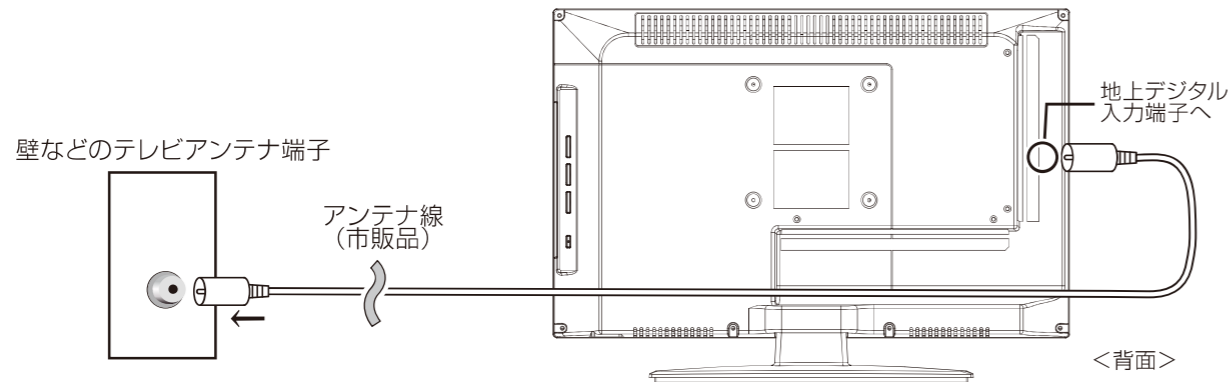
アンテナの接続

1 アンテナと本機をつなぐ

アンテナ線で壁などのアンテナ端子と本製品のアンテナ入力端子を接続します。

※アンテナ線はゆるまない程度に手で締めつけてください。

工具などを使って締めつけ過ぎないようにしてください。故障の原因となることがあります。



※本製品にアンテナ線は付属していません。

※上図は接続の一例であり略図です。図は実際の接続部とは多少、異なることがあります。

※地上デジタル放送をご覧になるときは、地上デジタル放送の信号が受信されていることをご確認ください。

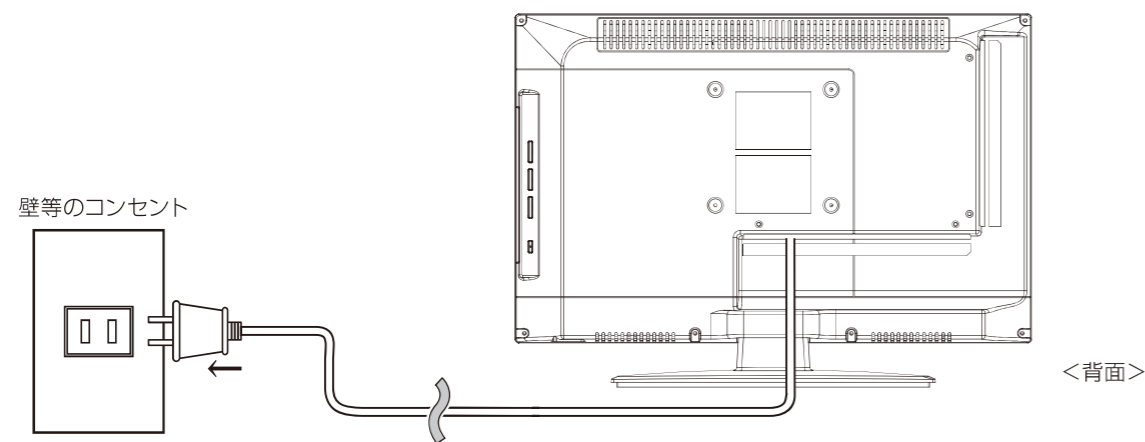
※現在お使いのアンテナが地上デジタル放送対応であっても地域やアンテナ設置状況によっては取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になることがあります。

※ケーブルテレビで地上デジタル放送を受信している場合は、契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

※アンテナや接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)、混合器、分波器、分配器などは付属しておりません。機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類(電波の種類)、使用環境条件などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

2 電源コードをコンセントに接続する

本体背面に接続されている電源コードの先端のプラグをコンセントに差し込むと、本体の電源ランプが点灯し、自動的に電源がオンになります。



※上図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少、異なることがあります。

※リモコンの電池がきちんと入っていることを確認してください。

※電源を入れてから画面が映るまでに十数秒かかります。画面が表示されるまで少しお待ちください。

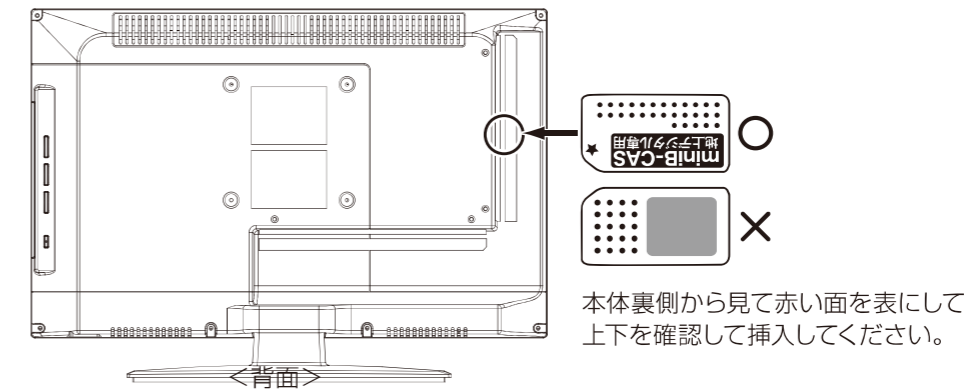
※画面切換時の注意

SD信号[ビデオ等の外部機器、D1(525i)映像、D2(525P)映像]などからHD信号[地上デジタル放送、D3(1125i)映像、D4(720P)映像、D5(1080P)映像、HDMI(1080P)映像]などに画面を切り換える時、信号に合わせて本製品内部で画面調整を行うため、画面が一瞬ちらつくことがありますが故障ではありません。

B-CASカードを挿入する

B-CASカードを挿入口に差し込む

B-CASカードは正しい向きで挿入口にしっかり奥まで差し込んでください。



※B-CASカードを差し込むときはテレビの電源をオフにしてから差し込んでください。

※地上デジタル放送は著作権保護のためB-CASカードを挿入していないとスクランブルがかかって視聴することができません。

※カード裏面の記述は実物と異なる場合があります。

※同封の「B-CASカード仕様承諾約款」の内容を読み了承された上で台紙からB-CASカードを取り外してください。

※B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容やB-CASカードに関する質問など不明な点がある場合は

B-CASカスタマーセンター(TEL:0570-000-250)へお問い合わせください。

※B-CASは(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略です。

地上デジタル放送が受信できないと思ったら、

- ① 地上デジタル放送の受信エリア内であること
 - ② 地上デジタル放送を受信できる適切なアンテナがあること
 - ③ B-CASカードが正しく挿入されていること
- をご確認ください。

はじめての設定

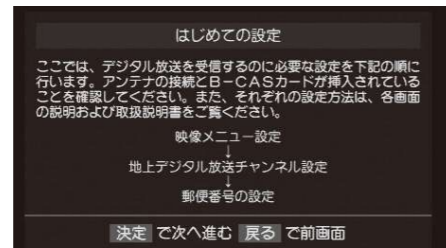
はじめての設定

開封後、はじめて電源を入れた時、画面は自動的に地上デジタルの初期ユーザー設定画面が表示されます。

<注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

1 電源をつける

本体背面に接続されている電源コードの先端のプラグをコンセントに差し込むと、自動的に電源がオンになります。

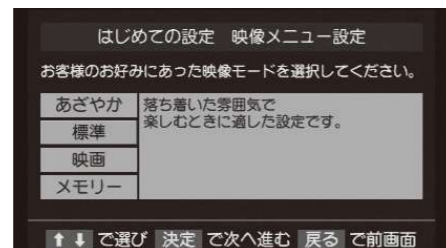


しばらくすると「はじめの設定」画面が表示されますので、指示に従って決定ボタンを押します。

※電源ボタンを押してから画面が映るまでに十数秒かかります。画面が表示されるまでお待ちください。

2 映像メニュー設定

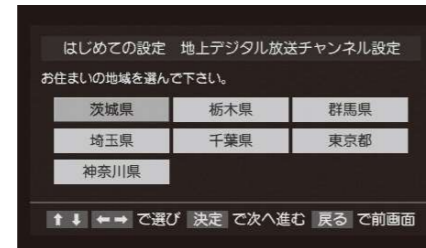
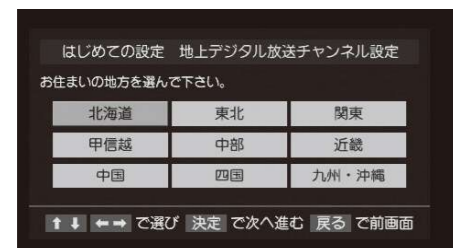
お好み合った映像設定を選ぶことができます。「あざやか」、「標準」、「映画」、「メモリー」の中から使用する映像設定を矢印ボタンで選択して決定ボタンを押してください。



※映像モードは設定完了後にもメニュー画面から変更することができます。

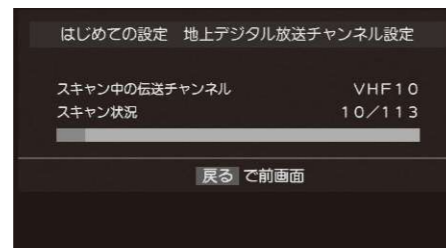
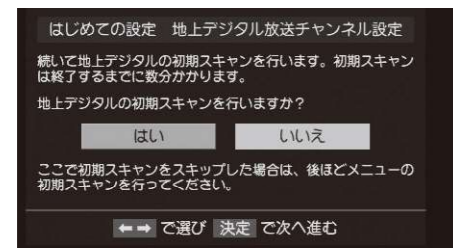
3 地上デジタル放送チャンネル設定

お住まいの地域の選択画面が表示されますので、矢印ボタンでお住まいの地方、都道府県をそれぞれ選択して決定ボタンを押してください。



4 チャンネルスキャン

チャンネルスキャン画面が表示されます。矢印ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押してください。チャンネルスキャンが始まります。スキャンが完了するまで数分かかりますのでしばらくお待ちください。



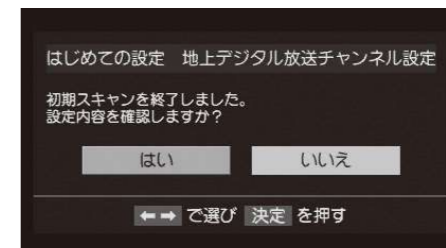
使用するボタン

白い部分を使用するボタンです。



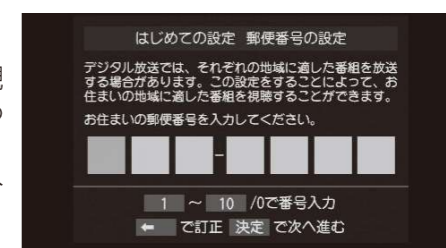
5 スキャン完了

スキャンが完了すると設定内容の確認画面が表示されます。矢印ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押すと、スキャンしたチャンネルが一覧で表示されます。



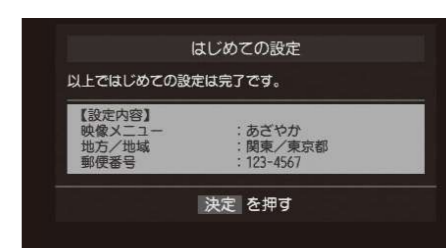
6 郵便番号の設定

お住まいの地域に適したデータ放送を視聴するためご自宅の郵便番号を設定することができます。リモコンの数字ボタンを使って番号を入力し、決定ボタンを押して登録します。



7 設定完了

設定完了画面が表示されます。決定ボタンを押して設定を終了します。



■ 設定を完了しても何も映らないときは・・・

アンテナや、本機とケーブル類との接続が正しくない可能性があります。以下をご確認のうえ再度設定をお確かめください。

- ① 入力は「地上デジタル」に切り換えていますか？
切り換えていない場合、リモコンの「地デジ」ボタンを押して入力を地上デジタルに切り換えてください。
- ② 地上デジタル放送の受信方法はどちらですか？

屋外アンテナの場合

アンテナが地上デジタル対応のUHFアンテナもしくはVHF/UHFの混合アンテナになっているか確認してください。詳しくは電器店またはアンテナ設置業者にご相談ください。

ケーブルテレビの場合

ご契約されているケーブルテレビの伝送方式がパススルー方式であるか確認してください。伝送方式が不明な場合はご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

③ 地上デジタルの受信レベルは60%以上ですか？(受信レベルの確認方法はP31を参照)

60%未満の場合

電波が弱いもしくは電波障害の可能性がります。詳しくはお買い上げ店またはお近くの電器店にご相談ください。

60%以上の場合

アンテナ線などケーブル類の接続に間違いがないか確認し、チャンネルの再設定をしてください。

使用するボタン

白い部分を使用するボタンです。



テレビをつける・消す / その他表示

準備ができたらずぐに地上デジタル放送をみることができます。

<注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

電源をつける

スタンバイ表示(赤色点灯)が消えているときは、リモコン操作はできません。

<電源ランプが消えているとき>

本体の電源ボタンを押すと電源がオンになります(緑色点灯)。

<スタンバイ表示(赤色点灯)のとき>

リモコンの電源ボタンを押すと、電源がオンになります(緑色点灯)。

※電源ボタンを押してから画面が映るまでに十数秒かかります。

画面が表示されるまでお待ちください。

消す

リモコンの電源ボタンを押すと画面が消え、スタンバイ状態になります。

チャンネルを変える

①数字ボタンでみたいチャンネルを選択することができます。

※チャンネル表示は約10秒で消えます。

②本体もしくはリモコンのチャンネル+/-ボタンを押すと、チャンネルの番号順にチャンネルを選択することができます。

③3桁入力ボタンを押して次に数字ボタンでみたいチャンネルの番号を押すと、チャンネルを変えることができます。

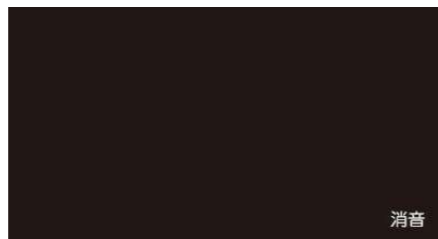
※3桁入力画面は約10秒後に表示が消えます。

音量を調整する

本体またはリモコンの音量+/-ボタンを押すと、音量を調整することができます。

消音する

消音ボタンを押すと一時的に音が消えます。もう一度ボタンを押すと元の音量に戻ります。



チャンネル情報を表示する

画面表示ボタンを押すと、現在見ているチャンネルの情報を表示することができます。もう一度ボタンを押すか、終了ボタンを押すと、表示が消えます。



約10秒で画面下部の表示が消え、上部のみ表示が継続されます。



番組情報 画質 画面サイズ

使用するボタン

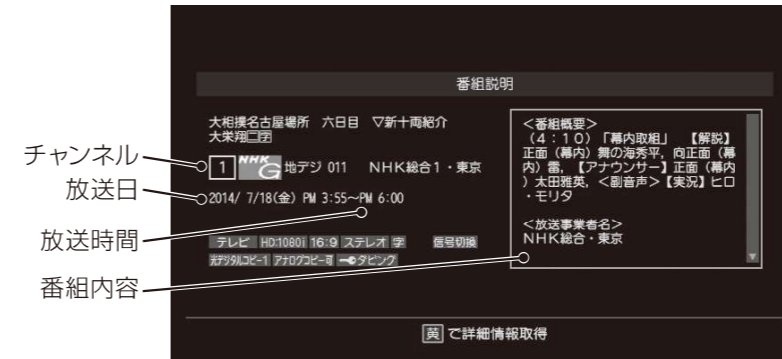
白い部分が使用するボタンです。



その他表示 / 設定

番組説明

番組説明ボタンを押すと、現在見ている番組の情報を表示することができます。もう一度ボタンを押すか、戻るボタンまたは終了ボタンを押すと表示が消えます。



また、黄ボタンを押すと、詳細な情報を取得できます。

音声を切り替える

音声多重放送、または二重音声放送受信時、音声切換ボタンを押すと音声言語を切り換えることができます。

切り換える音声がない場合は、画面に切り換えられないと表示が出ます。

※受信している放送によって音声表示が異なることがあります。

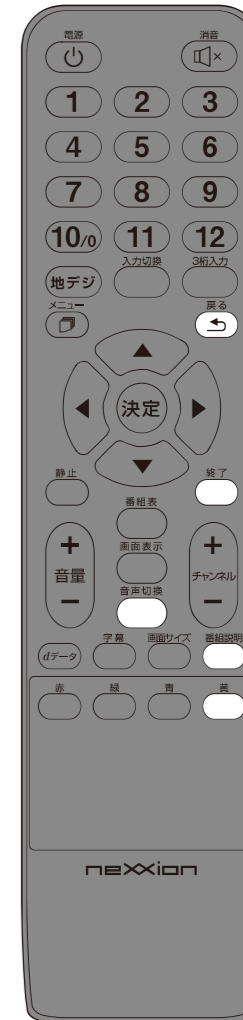
※外付チューナーやチューナー内蔵のDVDレコーダーなどを使用して二重音声を楽しむ場合は、必ずチューナー側の出力が二重音声で出力されるよう設定してください。

※音声切換画面は約5秒後に表示が消えます。



使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



画面サイズを変更する

画面比を切り換えることができます。画面サイズボタンを押すと、設定できる画面サイズが表示されますので、矢印ボタン(上下)を押してお好みのサイズを選択し決定ボタンを押します。もう一度ボタンを押すか、戻るボタン、終了ボタンを押すと表示が消えます。



| | |
|-----|---|
| ワイド | 4:3の画像を16:9に画面いっぱいに拡大して表示します。映像は左右に拡大されて表示されます。 |
| ズーム | 上下左右に映像を拡大して表示します。 ※映像信号によっては、映像の上下左右が表示されない場合があります。 |
| フル | 16:9の映像をそのままの比率で表示します。 |

※放送や映像によって画面サイズは自動的に調整されることがあります。
 ※放送や映像によっては画面比の切り換えができないことがあります。
 ※画面サイズはメニュー画面からも切り換えることができます。(→P28)

字幕を表示する

字幕放送時に番組の音声などを字幕で表示することができます。字幕ボタンを押すと、切り換えられる字幕が表示されますので矢印ボタンを押してお好みの字幕を選択し決定ボタンを押します。放送波に含まれる字幕データにより、選択できる言語は変わります。



※放送によっては設定しても字幕が表示されない場合があります。
 ※字幕放送に対応している地上デジタル放送の番組でのみ利用することができます。
 ※映像自体に字幕が表示されている場合は「字幕オフ」に設定しても字幕が表示されます。
 ※字幕は放送信号や処理の速度によって多少画面との時間のずれが生じることがありますが、故障ではありません。
 ※字幕の設定は設定メニュー画面からも行うことができます。(→P30)
 もう一度ボタンを押すか、戻るボタン、終了ボタンを押すと表示が消えます。

地デジモードにする

地デジ以外の映像入力の時に地デジボタンを押すと、地デジモードになります。

画面を静止する

静止ボタンを押すと、みたい映像を一時静止させることができます。一時静止中でも音声は流れ続けます。もう一度ボタンを押すか、戻るボタン、終了ボタンを押すと静止が解除されます。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



地上デジタル放送では映像や音声の通常放送とは別に、放送局が天気予報やニュースなどのデータ放送を提供しています。

連動データ放送をみる

dデータボタンを押すと、各チャンネルが提供しているデータ放送をみることができます。放送局により表示される内容が異なるので、画面に表示される操作指示に従って操作してください。もう一度dデータボタンを押すと通常画面に戻ります。

※データ放送の取得中は、一部操作できない機能があります。
 ※dデータボタンは画面の操作指示では「データボタン」「データ放送ボタン」と表示される場合があります。
 ※本機はインターネット回線を利用した連動データ放送の双方向サービスには対応していません。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



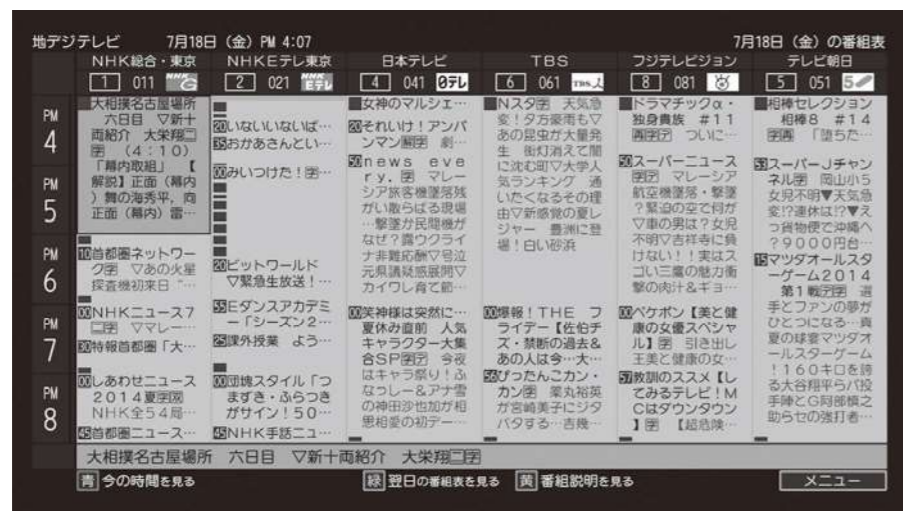
番組表をみる

地上デジタル放送では当日から7日先までの番組表 (EPG) を画面で確認することができます。

<注意>画面の表示は実際のもので多少異なる場合があります。お買い上げ後はじめて使用するときや、長期間電源ケーブルを抜いていたときなどは、すぐに番組表が表示されない場合があります。番組表の情報をダウンロードするには多少時間がかかることがありますのでご注意ください。

番組表の表示

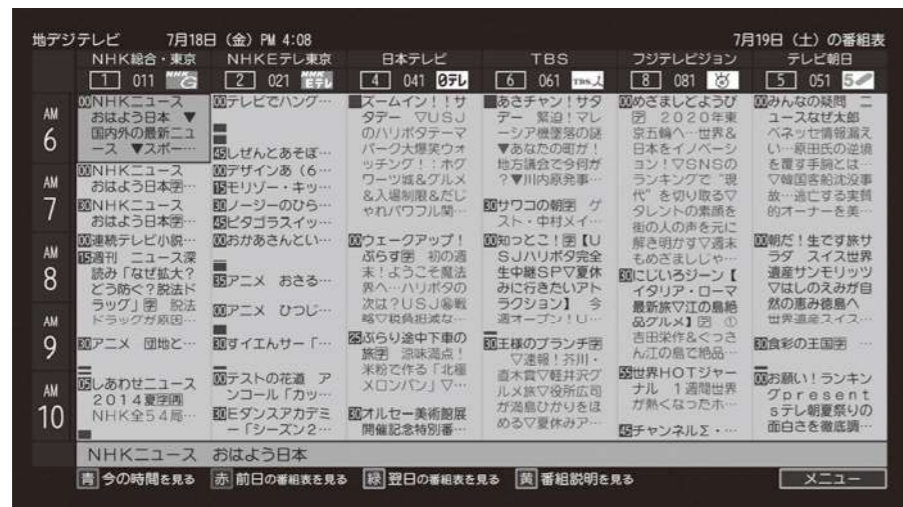
番組表ボタンを押すと番組表の画面をみることができます。もう一度番組表ボタンを押すか、戻るボタン、終了ボタンを押すと元の画面に戻ります。



※番組表ボタンを押すとその直前まで視聴していた番組が選択された状態の番組表が表示されます。
※番組表は矢印ボタンを押すことによってスクロールするので、みえていない部分もみることができます。

翌日、翌々日の番組表をみる

緑ボタンを押すと、翌日の番組表をみることができます。また、赤ボタンを押すと前日の番組表をみることができます。青ボタンを押すと、現在の時刻の番組表に戻ることができます。



番組表をみる

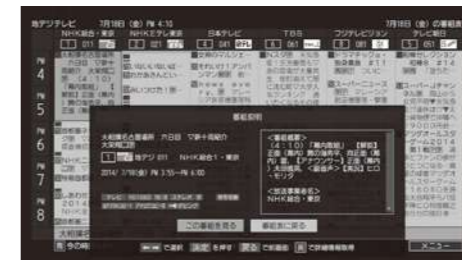
使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



番組内容を見る

矢印ボタン(左右)でチャンネル、矢印ボタン(上下)で時間帯を選び、決定ボタンを押すと選択している番組の番組内容を表示することができます。黄ボタンを押しても番組内容を表示することができます。戻るボタンを押すと元の画面に戻ります。

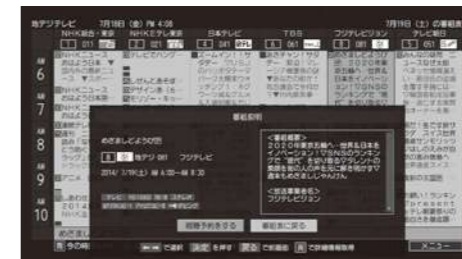


視聴予約をする

番組表から視聴したい番組を選択し、視聴予約を設定することができます。

1 番組を選ぶ

番組表を表示し、お好みの番組を選択して決定ボタンを押します。

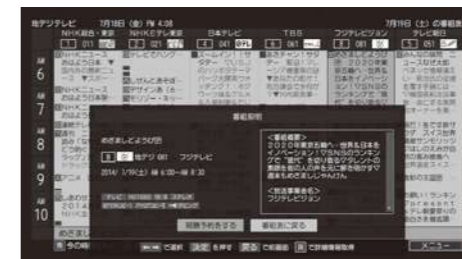


2 予約する

番組説明の下部にある「視聴予約をする」を選択して決定ボタンを押します。

視聴予約した番組は番組表内に赤いチェックマークがつけます。

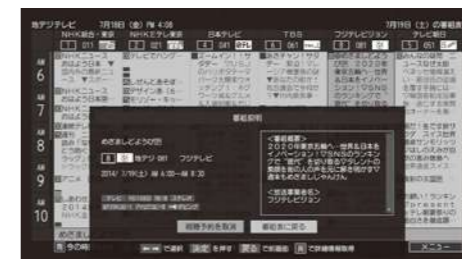
※視聴予約している番組があっても、電源がスタンバイ状態の場合、予約した番組の視聴は開始できません。



3 予約を取り消す

視聴予約を取り消すには、予約した番組を番組表内で選択して決定ボタンを押します。

番組説明の下部にある「視聴予約を取消」を選択して決定ボタンを押すと、番組表内のチェックマークが消えます。

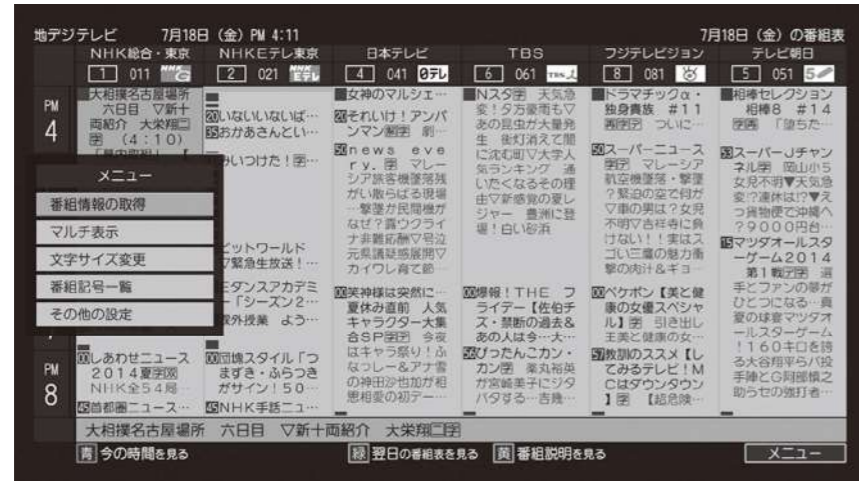


番組表メニュー

番組表を表示した状態でメニューボタンを押すと、番組表メニューが表示されます。矢印ボタンで決定したい項目を選択して決定ボタンを押すと項目の内容を選択、変更することができます。

番組情報の取得

番組情報の取得を行います。決定ボタンを押すと取得が始まります。



※番組情報の取得には多少時間がかかります。

マルチ表示

番組表内の表示をマルチチャンネル表示にすることができます。決定ボタンを押すと、現在選択しているチャンネルがマルチ表示に切り換わります。メニュー画面から「1CH表示」を選択し決定ボタンを押すと元に戻ります。

文字サイズ変更

番組表の文字のサイズを変更することができます。大・中・小の中から好みのサイズを選んで決定ボタンを押します。
※お買い上げ時には「小」に設定されています。

番組記号一覧

番組表内で使用されている記号の内容を確認することができます。

使用するボタン
白い部分が使用するボタンです。



その他の設定

スキップチャンネル設定

スキップされているチャンネルの番組表の表示を設定することができます。矢印ボタン(上下)で選択し、決定ボタンを押して表示と非表示を切り換えます。

※チャンネルのスキップ設定はメニューの「チャンネル設定」から行います。(→P39)

テレビ/ラジオ/データ切換

テレビ放送・ラジオ放送・データ放送の切換を行います。矢印ボタン(上下)で選択し、決定ボタンを押して切り換えます。

番組表メニュー

使用するボタン
白い部分が使用するボタンです。



本機はメニュー画面から各入力画面ごとにテレビの画質や音質を調整したり様々な設定をすることができます。

1 設定画面を表示する

メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。
矢印ボタン(上下)を使って各項目に移動します。

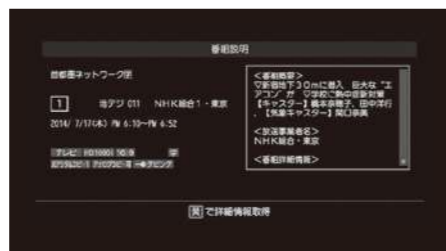


2 選択・調整する

項目で決定ボタンを押すと項目の内容を選択することができます。
戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。
終了ボタンを押すとメニュー画面を終了します。
<注意>画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

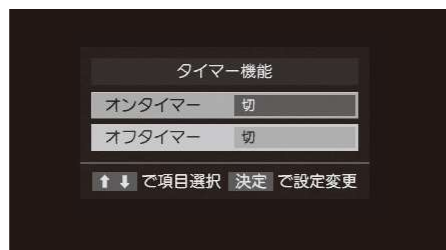
番組説明

現在視聴している番組の情報を表示することができます。
→詳しくはP19の「番組説明」へ



タイマー設定

タイマーを使って本機の電源をオンにしたり、スタンバイにしたりすることができます。



使用するボタン

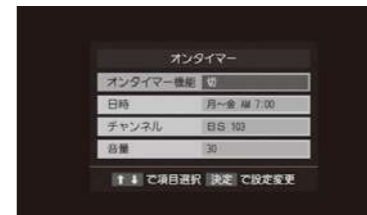
白い部分が使用するボタンです。



タイマー設定 つづき

オンタイマー

あらかじめ設定した時刻に本機の電源をオンにすることができます。
メニュー画面からオンタイマーを選択して決定ボタンを押します。
設定項目が表示されますので変更したい項目を矢印(上下)ボタンを押します。
※オンタイマーの設定時は電源コードを抜かないようにしてください。



| | |
|----------|--|
| オンタイマー機能 | オンタイマーを使用する場合は「入」使用しない場合は「切」を選択します。 |
| 日 時 | オンタイマーで電源をオンにする日時を設定します。 矢印(左右)ボタンで「曜日」「時」「分」の各項目を選択し、項目内を矢印(上下)ボタンで選択してそれぞれ決定ボタンを押します。 |
| チャンネル | オンタイマーで電源をオンにしたときのチャンネルを決定します。放送波とチャンネルの項目を矢印(左右)ボタンで選択し、項目内を矢印(上下)ボタンで選択してそれぞれ決定ボタンを押します。 |
| 音 量 | オンタイマーで電源をオンにしたときの音量を設定します。 矢印(上下)ボタンで選択して決定ボタンを押します。 |

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



オフタイマー

設定した時間になると自動的に本体の電源をスタンバイ状態にすることができます。
選択して決定ボタンを押すとオフタイマーの設定時間が表示されますので、矢印ボタン(上下)でお好みの時間を選択して決定ボタンを押します。
戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



※指定時間の1分前になるとオフタイマーの作動を伝えるメッセージが表示されます。
※お買い上げ時には「オフ」に設定されています。

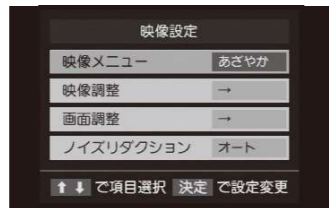
画面サイズ切換／映像設定

画面サイズ切換

画面比を切り換えることができます。
→詳しくはP20の「画面サイズを変更する」へ

映像設定

矢印ボタン(上下)で各項目に移動して決定ボタンを押すと、画質を調整することができます。
決定ボタンを押して項目を決定します。
戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



映像メニュー

あらかじめシーンに合わせた設定の中からお好みの映像設定を選んで放送を楽しむことができます。

| | |
|------|------------------------|
| あざやか | 日中の明るいリビングで楽しむときに適した設定 |
| 標準 | 落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定 |
| 映画 | 映画館のような雰囲気を楽しむときに適した設定 |
| メモリー | お客様の好みの設定で楽しむときに適した設定 |



※映像モードを選択すると、自動的に「明るさ」「コントラスト」「色合い」「シャープネス」「バックライト」「色温度」などの設定項目も変更されます。

映像調整

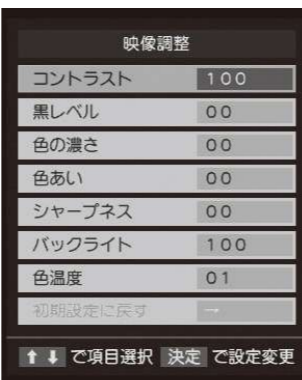
お好みに合わせた画質調整をすることができます。
選択して決定ボタンを押すと、以下の調整項目が表示されます。

| | |
|---------|---|
| コントラスト | 画面のコントラストを調整します。 |
| 黒レベル | 画面の黒レベルを調整します。 |
| 色の濃さ | 画面の色の濃さを調整します。 |
| 色合い | 画面の色合いを調整します。 |
| シャープネス | 画面のシャープネスを調整します。 |
| バックライト | 画面のバックライトを調整します。調整値が大きくなるほど明るく、小さくなるほど暗くなります。 |
| 色温度 | 画面の色温度を調整します。03(赤味強調)、02(標準)、01(青味強調)の3種類の中から選択することができます。 |
| 初期設定に戻す | 選択して決定ボタンを押すと、メモリー調整がお買い上げ時の画質に設定されます。 |

項目を選択すると調整バーが表示されますので、矢印(左右)ボタンで調整します。
調整した内容はメモリーとして保存され、映像メニューから選択することができます。

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



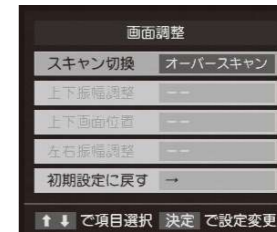
映像設定／音声設定

画面調整

表示される画面の大きさや映像の位置を設定することができます。

<スキャン切換>

| | |
|----------|----------------------|
| ジャストスキャン | 16:9の映像を画面にすべて表示します。 |
| オーバースキャン | 16:9の映像を少し大きめに表示します。 |



<上下振幅調整・上下画面位置・左右振幅調整>

画面の右下に表示されている設定ごとに上下左右の画面位置を調整することができます。
矢印(上下)ボタンで調整したい項目を選択し、矢印(左右)ボタンで数値を調整します。

※ワイド切替がフルの場合は調整できません。
※映像の種類と画面サイズによっては調整出来ない場合があります。



<初期設定に戻す>

選択して決定ボタンを押すと、お買い上げ時の画質に設定されます。

ノイズリダクション

画面に出るノイズの調整をすることができます。オート、強、中、弱、オフの中から矢印(上下)ボタンで選択して決定ボタンを押します。

音声設定

音質を調整することができます。
決定ボタンを押して項目を決定します。
戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

<注意>画面の表示は実際のと多少異なる場合があります。



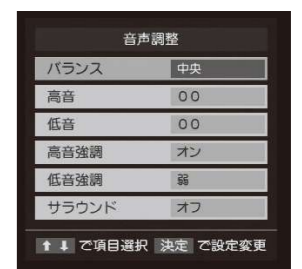
音声調整

お好みに合わせた音質調整をすることができます。
選択して決定ボタンを押すと、以下の調整項目が表示されます。

| | |
|-------|---|
| バランス | 左右のスピーカーのバランスを調整します。 |
| 高音 | 高い音の出力を調整します。 |
| 低音 | 低い音の出力を調整します。 |
| 高音強調 | 人の声などを聞きやすく調整することができます。 ※お買い上げ時は「オン」に設定されています。 ※映像によっては音質の変化が分かりにくい場合があります。 |
| 低音強調 | 低音の効果を調整することができます。 ※お買い上げ時は「弱」に設定されています。 ※映像によっては音質の変化が分かりにくい場合があります。 |
| サラウンド | 音声の出力方法を変更して、臨場感のある音声で楽しんでいただける機能を設定することができます。 ※お買い上げ時には「オフ」に設定されています。 ※映像によっては音質の変化がわかりにくい場合があります。 |

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



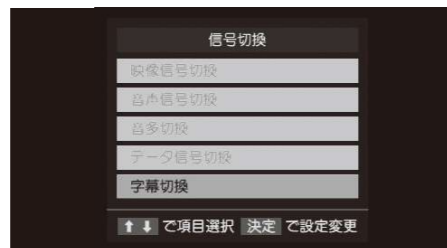
テレビの設定

テレビの設定

その他の設定

信号切換

デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データなどを持っている場合があります。お好みでこれらを切り換えることができます。矢印ボタン(上下)で切り換える項目を選択し、決定ボタンを押して切り換えます。



| | |
|---------------|--|
| 画 像 信 号 切 換 | 映像信号を切り換えることができます。 |
| 音 声 信 号 切 換 | 音声信号を切り換えることができます。 |
| デ ー タ 信 号 切 換 | データ信号を切り換えて表示することができます。 |
| 字 幕 切 換 | 字幕の表示を切り換えることができます。 ※リモコンの字幕ボタンを押しても切り換えることができます。(→P20) |

※視聴中の番組によって切り換えられる信号は異なります。
※切り換えることのできない信号は選択することができません。

チャンネル番号入力

決定ボタンを押して次に数字ボタンでみたいチャンネルの番号を押すとチャンネルを変えることができます。
→詳しくはP18の「チャンネルを変える」へ

HDMI入力拡張切換

HDMIの入力端子から複数の外部機器を接続している場合、それぞれの機器の表示を切り換えることができます。
詳しくは外部入力機器の取扱説明書をご確認ください。



使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



その他の設定

データ放送終了

データ放送受信時に選択して決定ボタンを押すと、データ放送を終了し通常の放送に戻ることができます。
※リモコンのdデータボタンでも終了することができます。(→P.21)

アンテナレベル

地上デジタル放送の受信状態を確認することができます。

※アンテナレベルは60以上が正常に視聴できる目安となっています。
アンテナレベルが極端に低い場合はアンテナの位置を調整するなど、電波を良好にすることをおすすめします。



テレビ/ラジオ/データ切換

テレビ放送・ラジオ放送・データ放送のいずれかに切り換えることができます。

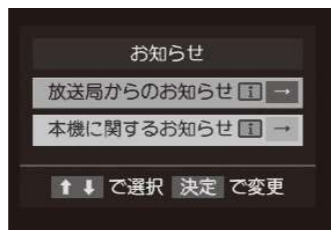
使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



お知らせ

放送局や本機からのお知らせを表示することができます。
矢印ボタン(上下)で項目を選択して決定ボタンを押して表示します。



放送局からのお知らせ

放送局からのお知らせを受け取ることができます。
タイトルとお知らせの内容が表示されます。
矢印ボタン(上下)でお知らせの件名を選択し、決定ボタンを押すと内容をすべて確認することができます。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

※お知らせが届くと、チャンネル表示画面にお知らせマークが表示されます。
※重要なお知らせですので、必ず内容をお読みください。

本機に関するお知らせ

本機に関するお知らせを受け取ることができます。選択して決定ボタンを押すと、タイトルとお知らせの内容が表示されます。
矢印ボタン(上下)でお知らせの件名を選択し、決定ボタンを押すと内容をすべて確認することができます。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。
お知らせの画面が表示されているときにリモコンの青ボタンを押すと、お知らせを削除することができます。

※お知らせが届くと、チャンネル表示画面にお知らせマークが表示されます。
※重要なお知らせですので、必ず内容をお読みください。

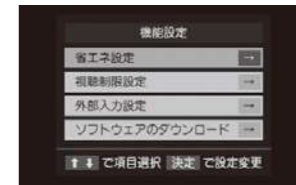
使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



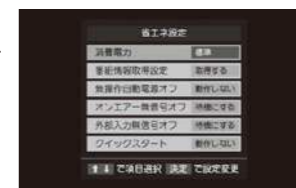
機能設定

本機の省エネや外部入力に関する設定を行うことができます。
矢印ボタン(上下)で選択して決定ボタンを押して設定します。
戻るボタンを押すと、前の画面に戻ります。



省エネ設定

消費電力や電源の調整を行うことができます。
矢印ボタン(上下)で項目を選択して決定ボタンを押して設定します。



| | | |
|-----------|---|--|
| 消費電力 | 画面の明るさを抑え、消費電力を節約することができます。 決定ボタンを押すと設定できる電力モードが表示されますので、矢印ボタン(上下)で選択し、決定ボタンを押します。 | |
| 番組情報取得設定 | スタンバイ状態時に番組情報を取得するかどうか設定することができます。矢印ボタン(上下)で選択し決定ボタンを押します。 | |
| 無操作自動電源オフ | 3時間以上操作がない場合に自動的に電源をオフにする機能を設定することができます。矢印ボタン(上下)で選択し、決定ボタンを押します。 | |
| オンエア無信号オフ | 表示中のチャンネルの放送終了から15分たったときに、自動的に電源をオフにする機能を設定することができます。矢印ボタン(上下)で選択し、決定ボタンを押します。 | |
| 外部入力無信号オフ | 外部機器からの入力信号が15分間止まったままのときに、自動的に電源をオフにする機能を設定することができます。矢印ボタン(上下)で選択し、決定ボタンを押します。 | |
| クイックスタート | スタンバイ状態から電源をオンにするとき、画面が表示されるスピードを設定することができます。矢印ボタン(上下)で選択し、決定ボタンを押します。 ※クイックスタートを「動作する」に設定すると本機の消費電力が上がりますのでご注意ください。 | |

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



視聴制限設定

あらかじめ特定の番組に対する視聴制限を設定したり、解除したりすることができます。矢印ボタン(上下)で項目を選択して決定ボタンを押して設定します。



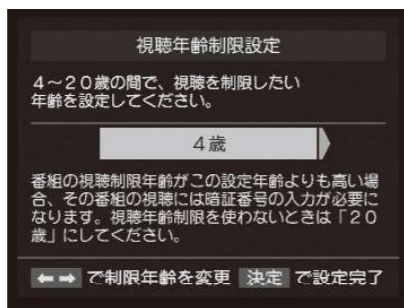
1 暗証番号を設定する

視聴制限を設定するには暗証番号を設定します。矢印ボタン(上下)で「暗証番号設定」を選択し決定ボタンを押します。暗証番号の入力画面が表示されますので任意の数字をボタンを使って入力し、決定ボタンを押します。暗証番号の確認画面が表示されますので、再度任意の番号を入力し決定ボタンを押します。



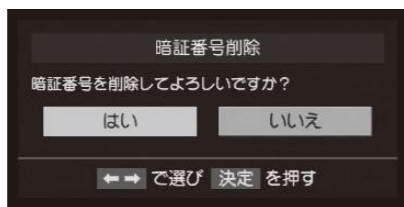
2 設定を選択・調整する

視聴制限設定画面から「視聴年齢制限設定」を選択し決定ボタンを押します。暗証番号の入力画面が表示されますので、設定した任意の番号を数字ボタンで入力します。暗証番号を入力すると視聴年齢制限設定画面が表示されますので、制限したい年齢を矢印ボタン(左右)で選択して決定ボタンを押します。



3 暗証番号を削除する

設定した暗証番号を削除することができます。視聴制限設定画面から「暗証番号削除」を選択し決定ボタンを押します。暗証番号の入力画面が表示されますので、設定した任意の番号を数字ボタンで入力します。暗証番号を入力すると暗証番号削除画面が表示されますので、矢印ボタン(左右)で「はい」を選択して決定ボタンを押します。



使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



外部入力設定

外部入力を使用する時の機能を設定することができます。矢印ボタン(上下)で項目を選択して決定ボタンを押して設定します。



<HDMI音声入力設定>

HDMI入力端子に接続した機器からの音声出力を、HDMIのステレオ音声端子からの出力にするか、ビデオの入力端子に接続した音声を出力するかを設定することができます。矢印ボタン(上下)でデジタル(HDMI)かアナログ(ビデオ)かを選択し、決定ボタンを押します。



<外部入力スキップ設定>

入力切換時に、使用しない入力端子をスキップするよう設定することができます。スキップしたい外部入力を矢印ボタン(上下)で選択し決定ボタンを押します。



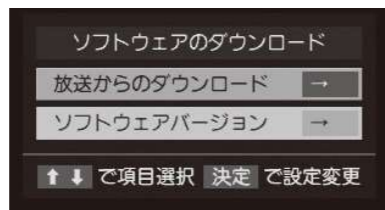
使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



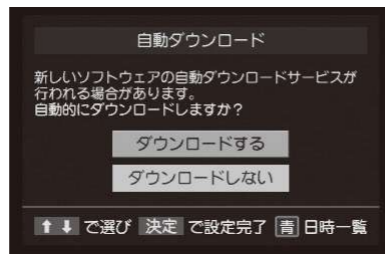
ソフトウェアのダウンロード

ソフトウェアの自動更新の設定やソフトウェアのバージョンを確認することができます。矢印ボタン(上下)で項目を選択して決定ボタンを押して設定します。



< 放送からのダウンロード >

本機のソフトウェアを自動的にダウンロードしてアップロードすることができます。矢印ボタン(上下)で項目を選択して決定ボタンを押すと、ダウンロードの設定画面が表示されますので、矢印ボタン(上下)で選択して決定ボタンを押します。



※お買い上げ時は「ダウンロードする」に設定されています。

※「ダウンロードしない」を設定すると、「本機に関するお知らせ」→(P.32)にソフトウェアの配信に関するお知らせが届きます。「ダウンロードの予約」機能を使ってソフトウェアのダウンロードを行ってください。

< ダウンロードの予約 >

自動ダウンロードを「しない」設定にしている場合、ソフトウェアの配信日時を設定してダウンロードを行うことができます。

< ソフトウェアバージョン >

現在のソフトウェアのバージョンを表示することができます。



使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



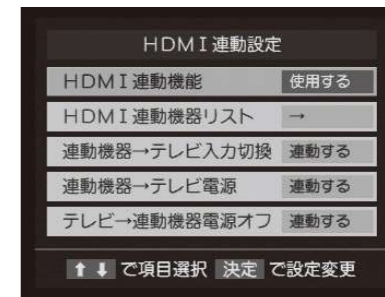
CEC設定

HDMI端子を使って外部機器を接続したときに、相互の機器の動作が連動する機能を設定することができます。矢印ボタン(上下)で項目を選択して決定ボタンを押して設定します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



HDMI連動設定

以下の連動機能を設定することができます。



| | | |
|--------------|--|--|
| HDMI連動機能 | HDMI の各種の連動機能の仕様を設定できます。矢印ボタン(上下)で選択して決定ボタンを押します。 ※お買い上げ時は「使用する」に設定されています。 | |
| HDMI連動機器リスト | 1台以上のHDMI連動機器を接続した場合、どの機器を連動設定するかを選択することができます。矢印ボタン(上下)でリストから機器を選択し、決定ボタンを押します。 ※機器がリストに表示されない場合は、リモコンの赤ボタンを押して再検出を行ってください。 | |
| 連動機器→テレビ入力切替 | 本機の電源がオンの状態で、連動機器の再生機能を開始したとき、自動的に本機が連動機器の入力モードを表示する機能です。矢印ボタン(上下)で選択し、決定ボタンを押します。 | |
| 連動機器→テレビ電源 | 本機の電源がスタンバイ状態のとき、連動機器の電源をオンにすると、自動的に本機の電源をオンにする機能です。矢印ボタン(上下)で選択し、決定ボタンを押します。 | |
| テレビ→連動機器電源オフ | 本機の電源をスタンバイに変更したとき、連動機器の電源も自動的にオフにする機能です。矢印ボタン(上下)で選択し、決定ボタンを押します。 | |

使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



初期設定

本機を視聴するためのチャンネル設定やアンテナに関する設定を行うことができます。
矢印(上下)ボタンで設定する項目を選択し、決定ボタンで項目を設定します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

はじめての設定

デジタル放送を受信する設定を行うことができます。
→詳しくははじめての設定 (P16-17) へ

アンテナ設定

地上デジタル放送の受信環境を設定・確認することができます。

<地上デジタルアンテナレベル>

地上デジタル放送の受信状態を確認することができます。

※アンテナレベルは60以上が正常に視聴できる目安となっています。アンテナレベルが極端に低い場合はアンテナの位置を調整するなど、電波を良好にすることをおすすめします。

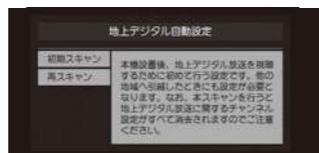
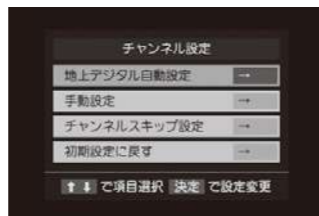
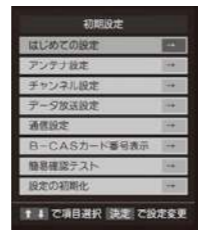
チャンネル設定

受信チャンネルに関する設定を行うことができます。

<地上デジタル自動設定>

受信地域が変わった時などに、地上デジタル放送のチャンネルを再設定することができます。
矢印(上下)ボタンで選択して決定ボタンを押します。

| | |
|--------|--|
| 初期スキャン | すでに登録しているチャンネルを一旦廃棄して、はじめてからチャンネルスキャンを行い、地上デジタル放送のチャンネルの再設定を行うことができます。 |
| 再スキャン | すでに登録している地上デジタル放送のチャンネルに対して追加の情報更新を行うことができます。 |



使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



チャンネル設定 つづき

<手動設定>

リモコンの数字ボタンに割り当てられているチャンネルを変更したり、空いているボタンにお好みのチャンネルを設定することができます。

1 変更するボタンを設定する

矢印(上下)ボタンで放送局を選択して決定ボタンを押すと、手動設定画面が表示されますので、変更したいリモコンの数字ボタンを画面の中から矢印(上下)ボタンで選択して決定ボタンを押します。

2 変更するチャンネルを設定する

矢印(左右)ボタンを使って設定したいチャンネルを選択し、決定ボタンを押します。

チャンネルスキップ

地上デジタル放送時のリモコンの数字ボタンを任意に編集することができます。

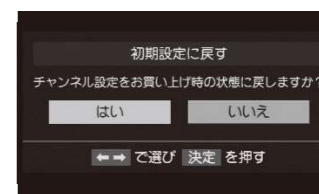
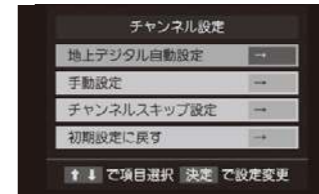
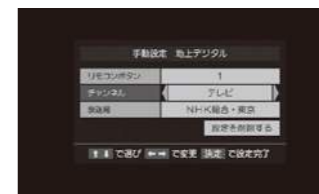
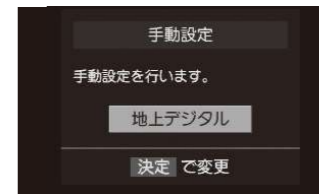
編集したい放送局を矢印(上下)ボタンで選択して決定ボタンを押すと、チャンネルの一覧が表示されます。
矢印(上下)ボタンでチャンネルを選択して決定ボタンで設定します。

戻るボタンを押すと、前の画面に戻ります。

初期設定に戻す

本機のチャンネル設定をお買い上げ時の状態に初期化することができます。

初期化実行の確認画面が表示されますので、初期化する場合は「はい」を、やめる場合は「いいえ」を選んで決定ボタンを押します。
戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。「はい」を選んで決定ボタンを押すと、初期化が開始されます。



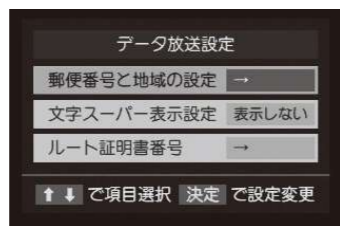
使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



データ放送

データ放送に関する設定をすることができます。

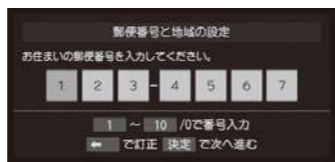


<郵便番号と地域の設定>

データ放送を視聴する地域をを設定することができます。

1 郵便番号を入力する

お住まいの地域の郵便番号を入力する画面が表示されますので、数字ボタンで番号を入力し、決定ボタンを押します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。



2 地域を選択する

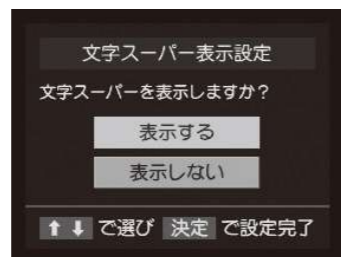
お住まいの地域選択画面が表示されますので、矢印ボタンで選択して決定ボタンを押します。



<文字スーパー表示設定>

文字スーパーの表示を設定します。矢印ボタン(上下)で選択し、決定ボタンを押します。

※お買い上げ時には「表示しない」に設定されています。



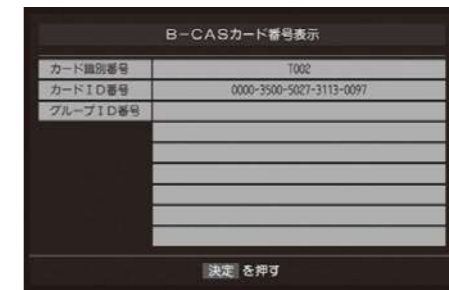
使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



B-CASカード番号表示

B-CASカードの識別表示やID番号を表示することができます。



使用するボタン

白い部分が使用するボタンです。



簡易確認テスト

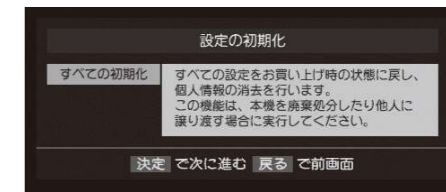
チャンネル設定の変更をしたときやテレビの移動をしたときなど、受信状態を確認したいときに、簡単な確認テストをすることができます。決定ボタンを押すとテストが始まります。



| テスト項目 | テスト結果の表示 | 内容または対処の仕方 |
|-------------------------------------|---|--|
| 地上デジタル受信テスト | 「正常に受信できています。」 | — |
| 地上デジタル放送が受信できることをテストします。 | 「正しく受信できません。」 | ・アンテナの接続とアンテナレベルを確認してください。 |
| カードテスト 本機で使えるB-CASカードかどうかテストします。 | 「正常に動作しています。」 | — |
| | 「B-CASカードを正しく挿入してください。」 | ・B-CAS カードを正しい向きで挿入後もう一度簡易確認テストをしてください。 |
| | 「このICカードはご使用になれません。正しいB-CASカードを挿入してください。」 | ・B-CAS カードを正しい向きで挿入後もう一度簡易確認テストをしてください。 |
| | 「このB-CASカードはご使用になれません。」 | ・B-CAS カードを確かめてください。 ・B-CAS カードを交換してください。 |
| | 「B-CASカードが故障しています。」 | ・カードに記載の B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。 |

設定の初期化

お買い上げ時の状態に初期化することができます。決定ボタンを押すと初期化が開始されます。初期化が終了したら一旦本機もしくはリモコンの電源ボタンを押して電源をスタンバイ状態にしてください。本機を廃棄処分したり人に渡したりする場合に実行してください。



HDMI対応機器を接続する

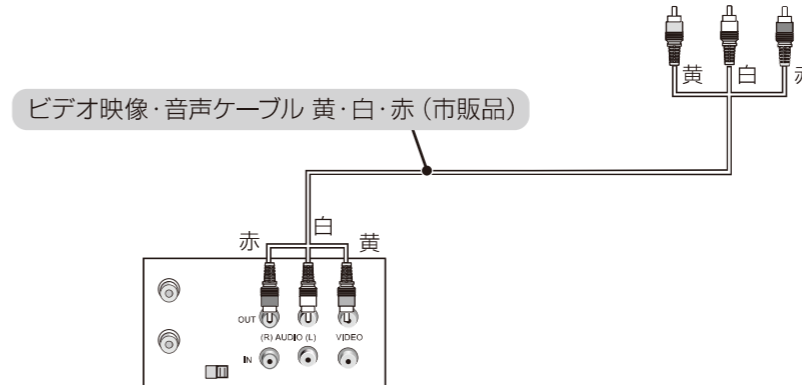
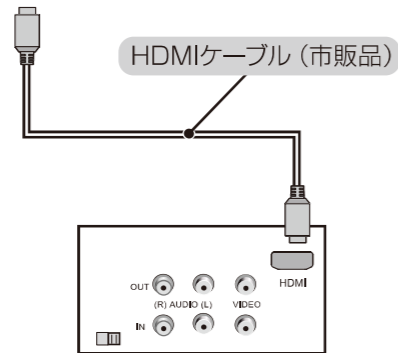
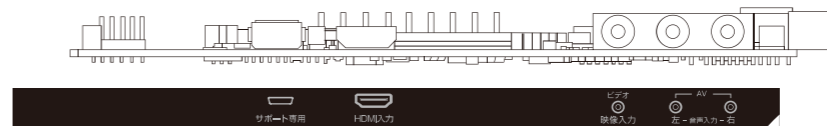
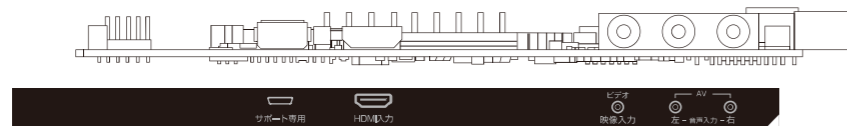
ビデオ映像端子を使って機器を接続する

<接続する前に>
本機に接続する機器の取扱説明書も併せてよくお読みください。
ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。

<接続する前に>
本機に接続する機器の取扱説明書も併せてよくお読みください。
ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。

<裏面底部端子>

<裏面底部端子>



接続する外部機器の背面<出力端子>
※背面は機器の種類により異なる場合があります。

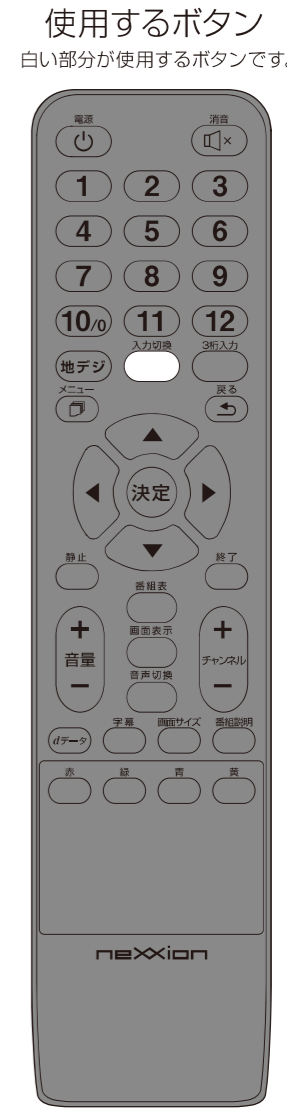
接続する外部機器の背面<出力端子>
※背面は機器の種類により異なる場合があります。

図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少異なることがあります。
※接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。

図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少異なることがあります。
※接続する機器の映像出力端子の種類によって接続方法が異なります。



使用するボタン
白い部分が使用するボタンです。



使用するボタン
白い部分が使用するボタンです。

- 1 図のようにHDMIケーブル（市販品）を本機と外部機器に接続してください。
- 2 HDMIケーブルの接続が完了したら本機の電源コードをコンセントに接続してください。
※電源コードの接続に関してはP14を参照してください。
- 3 本機の電源を入れ、入力切換ボタンを押して入力をHDMIに切り換えると、接続機器に出力を切り換えることができます。
- 4 外部機器の電源を入れて再生を開始してください。
※ノイズが入る場合がありますので外部機器と本製品との間を離してください。
※PCのHDMIコネクタを使用した表示はサポートしていません。

- 1 図のようにビデオ映像・音声ケーブル（市販品）を黄・白・赤の各端子の色に合わせて外部機器と本機に接続してください。
※映像端子と音声端子を逆に接続すると、音声も映像も出力できません。
それぞれの端子が正しく接続されているか必ずご確認ください。
※接続する機器の音声出力端子がひとつしかない場合は、白の端子だけを接続してください。この場合、音声は片方のスピーカーからのみ出力されます。
- 2 ビデオ映像・音声ケーブルの接続が完了したら、本機の電源コードをコンセントに接続してください。
※電源コードの接続に関してはP14を参照してください。
- 3 本機の電源を入れ、入力切換ボタンを押して入力をビデオに切り換えると、接続機器に出力を切り換えることができます。
- 4 外部機器の電源を入れて再生を開始してください。
※ノイズが入る場合がありますので、外部機器と本製品との間には十分な距離をおいてください。

[画面切換時の注意]
画面を切り換える時、信号に合わせて本製品内部で画面調整を行う為、画面が一瞬ちらつくことがあります。故障ではありません。また切り換え時に少し時間がかかりますが、故障ではありません。

[画面切換時の注意]
画面を切り換える時、信号に合わせて本製品内部で画面調整を行う為、画面が一瞬ちらつくことがあります。故障ではありません。また切り換え時に少し時間がかかりますが、故障ではありません。

外部機器との接続

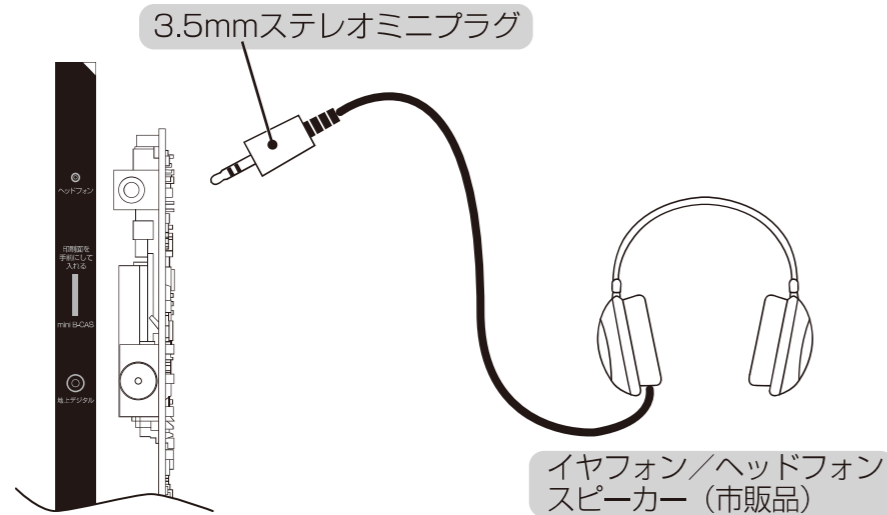
外部機器との接続

スピーカーやイヤフォン／ヘッドフォンを接続する

故障かも・・・と思ったら

<接続する前に>

本機に接続する機器の取扱説明書も併せてよくお読みください。
ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。
接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。



図は接続の略図です。図は実際の接続部とは多少異なることがあります。
※接続する機器の出力端子の種類によって接続方法が異なります。

イヤフォン/ヘッドフォンの場合

1 図のようにイヤフォン／ヘッドフォン（市販品）の端子を本機のヘッドフォン端子と接続してください。
※ヘッドフォン端子の抜き差しは音量を小さくしてから行ってください。

スピーカーの場合

1 スピーカー（市販品）の端子を本機のヘッドフォン端子と接続してください。
※スピーカーの抜き差しは音量を小さくしてから行ってください。

2 スピーカーから本機の音声を出力することができます。
※ノイズが入る場合がありますので、外部機器と本製品との間は離してください。
※スピーカーの抜き差しは音量を小さくしてから行ってください。

[画面切替時の注意]

画面を切り換える時、信号に合わせて本製品内部で画面調整を行う為、画面が一瞬ちらつくことがあります。故障ではありません。また切り換え時に少し時間がかかりますが、故障ではありません。

| 症状 | 考えられる原因 | 対処法 | 参照ページ |
|--------------------|-------------------------------------|---|-----------|
| 電源が入らない | 電源プラグがコンセントから抜けている | 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 | P.14 |
| 電源が入っているが画面に何も映らない | 異なる外部入力モードになっている。 | 入力切替ボタンを押して入力モードを確認してください。 | P.12-P.13 |
| | B-CASカードが正しく挿入されていない。 | B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。 | P.15 |
| | チャンネルスキャンが正しく行われていない。 | メニュー画面からチャンネルの再スキャンを行ってください。 | P.38 |
| 電源が入っているのに操作ができない | 内部でリセットが必要な状態が起きている | メニューボタンを押してメニューから「設定」の「初期設定に戻す」を行ってください。 | P.41 |
| | 電源電圧の急激な変化等で正常な動作をしていない。 | 電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ってから改めてコンセントに差し込んで電源を入れてください。 | — |
| 突然電源が切れる | 電源を自動的にオフにする機能が動作している。 | メニューの省エネ設定から無操作電源オフを解除してください。 | P.33 |
| | オフタイマーが動作している。 | オフタイマーをオフにしてください。 | P.27 |
| 地上デジタル放送が映らない | B-CASカードが正しく挿入されていない。 | B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。 | P.15 |
| | アンテナの向きがずれている。 | UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。 | P.38 |
| | チャンネルスキャンが正しく行われていない。 | メニューからチャンネルの再スキャンを行ってください。 | P.38 |
| | ケーブルテレビの伝送方式がパススルーではない。 | ケーブルテレビ会社に伝送方式を確認してください。 | — |
| 特定のチャンネルが映らない | アンテナの向き・角度がずれている。 | UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。常に受信状態のよくないチャンネルは、市販のブースター（増幅器）を設置することで正常に受信できる場合があります。お近くの電器店にご相談ください。 | P.38 |
| 地上デジタル放送の映像が乱れる | アンテナの向き・角度がずれている。 | UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。 | P.38 |
| | 悪天候などにより受信感度が落ちている。 | 天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が回復するまでお待ちください。 | — |
| 音声は出るが映像が出ない | アンテナ線の接続がゆるい、またはプラグ内の芯線が折れたり曲がっている。 | アンテナ線の接続を確認してください。 | P.14 |
| | 「コントラスト」「バックライト」の調整が悪い。 | メニューから「コントラスト」「バックライト」の調整をしてください。 | P.28 |
| 音声は出るが映像が出ない | 映像入力端子が正しく接続されていない。 | 外部入力機器を接続している場合は、映像入力端子が正しく接続されているか確認してください。 | P.42-P.43 |

故障かも・・・と思ったら

アフターサービス

| 症状 | 考えられる原因 | 対処法 | 参照ページ |
|--------------------|--|--|-----------|
| 音が出ない | 音量調整が最小になっている。 | 音量ボタンを押して音量を調整してください。 | P.18 |
| | 消音状態になっている。 | 消音ボタンを押して消音を解除してください。 | P.18 |
| | 音声ケーブルが接続されていない。 | 外部入力機器の音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 | P.43 |
| | ヘッドフォンが接続されている。 | ヘッドフォンを抜いてください。 | P.44 |
| 画面の映りが悪い | アンテナの向き・角度がずれている。 | UHFアンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問い合わせください。 | P.38 |
| | 画面の視野角から外れている。 | 視野角(上下170度/左右160度)の範囲外から見ると、映像が見にくい場合があります。 | — |
| | 他のテレビやラジオ、ゲーム機、パソコン、オーディオ、ビデオなどから妨害を受けている。 | 妨害を受けているものから離してご使用ください。 | — |
| | 悪天候などにより受信感度が落ちている。 | 天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が変わるまでお待ちください。 | — |
| 画面の色がおかしい | 「映像調整」の調整が悪い。 | メニューから「映像調整」の「色合い」「色の濃さ」の調整をしてください。 | P.28 |
| 画面が暗い | 「映像調整」の調整が悪い。 | メニューから「映像調整」の「バックライト」の調整をしてください。 | P.28 |
| リモコンが動作しない | 電池の極性が正しく入っていない。 | 電池の+-を確認し、正しい向きでリモコンに入れてください。 | P.12-P.13 |
| | 電池が消耗している。 | 2本とも新しい電池に入れ替えて再度確認してください。 | |
| | リモコン受信部近くに障害物がある。 | 受信部の前から障害物を避け、本機の受光範囲内(左右30度まで)で使用ください。 | |
| | リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっている。 | 受信部を強い光から離してください。 | |
| 番組表に何も表示されない | 番組表の更新が行われていない。 | 「番組表メニュー」から番組情報の取得を行ってください。 | P.24 |
| 選局できない 番号ボタンがある | チャンネルが割り当てられていない番号を選局している。 | メニューの「チャンネル設定」画面からチャンネルがその番号に割り当てられているか確認してください。 | P.39 |
| | チャンネルの切り換えに時間がかかっている。 | 受信信号を処理する時間上、チャンネルの切り換えに時間がかかる場合があります。 | — |

※本機には高度なソフトウェアが組み込まれています。上記のように正常に動作しなくなった時は、一度電源プラグをコンセントから抜いて、約1分後に再度電源プラグを差し込んでください。

※液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。こちらは故障ではありません。

※地上デジタル放送は、地上アナログ放送に比べて数秒遅れて放送されますが、故障ではありません。

修理を依頼される前に P45～P46 の「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、お買い上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。

■アフターサービスについて

保証書を必ずご確認ください

別途添付してあります保証書については、必ず「お買い上げ日」と「販売店名」の記入があることを確かめてからお買い上げ店よりお受け取りください。
また、内容をよくお読みのうえ、製造番号と製品本体裏面の製造番号をお確かめいただき、大切に保管してください。保証期間はご購入日から1年間です。
保証書を紛失された場合や保証書に「お買い上げ日」と「販売店名」の記入がない場合は保証の対象外となります。ご了承ください。

修理をご依頼される場合

本書の P45～P46 の「故障かも・・・と思ったら」に従って症状を確認いただき、それでも症状が改善されない場合は、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにご連絡ください。
○保証期間中は保証書の規定に従って、修理させていただきます。
○保証期間を過ぎていた場合は、修理すれば使用できる場合、ご希望により有償にて修理させていただきます。

＜修理を依頼される時にご準備いただきたい内容＞

- ・ご住所／ご氏名／お電話番号
- ・製品名／品番／お買い上げ日／お買い上げ店
- ・故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

個人情報の取扱いについて

- ・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- ・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規定を遵守させていただきます。

＜本製品に関するお問い合わせおよび修理に関するお問い合わせ＞

ネクシオン サポートセンター
 [電話] 0570-022-336
 [受付時間] 10:00～17:00(土日祝祭日、年末年始、当社休業日を除く)
 [住所] 〒339-0072 埼玉県さいたま市岩槻区古ヶ場2-7-9 篠崎運輸 古ヶ場センター内
 [E-mail] support@nexxion.jp

製品仕様

お問い合わせ

| | | |
|----------|---|---|
| 品名 | 19V型 地上波デジタルハイビジョン液晶テレビ | 24V型 地上波デジタルハイビジョン液晶テレビ |
| 型番 | TV1957B | TV2459B |
| 本体色 | ブラック | ブラック |
| テレビチューナー | 地上デジタル放送:○ CATVパススルー対応:○ 電子番組表 (EPG) :○ (7日分) データ放送対応:○ | 地上デジタル放送:○ CATVパススルー対応:○ 電子番組表 (EPG) :○ (7日分) データ放送対応:○ |
| パネルサイズ | 18.5inch 19V型 | 23.6inch 24V型 |
| 解像度 | 1366 x 768 | 1366 x 768 |
| 輝度 | 180cd/m ² | 200cd/m ² |
| コントラスト比 | 900:1 | 900:1 |
| 応答速度 | 14ms | 14ms |
| アスペクト比 | 16:9 | 16:9 |
| 視野角(標準値) | 上下170度:左右160度 | 上下170度:左右160度 |
| スピーカー出力 | 3W×2 | 3W×2 |
| 入力端子 | UHFアンテナ入力(地上デジタル放送)×1、 ビデオ入力端子(RCA)×1、サービス専用端子×1、 HDMI端子(Ver 1.3準拠)×1 | UHFアンテナ入力(地上デジタル放送)×1、 ビデオ入力端子(RCA)×1、サービス専用端子×1 HDMI端子(Ver 1.3準拠)×1 |
| 出力端子 | φ3.5mmステレオヘッドホンジャック×1 | φ3.5mmステレオヘッドホンジャック×1 |
| 定格電圧 | AC100V (50/60Hz) | AC100V (50/60Hz) |
| 消費電力 | 22W | 27W |
| 年間消費電力 | 39.7kWh/年 | 48kWh/年 |
| 区分名 | DK | DK |
| 使用環境 | 温度:-0~60℃(結露なきこと) / 湿度:30~80%(結露なきこと) | 温度:-0~40℃(結露なきこと) / 湿度:30~80%(結露なきこと) |
| 本体寸法 | 446 (W) X 160 (D) X 323 (H) mm(スタンド組立時) | 559 (W) X 160 (D) X 386 (H) mm(スタンド組立時) |
| 本体重量 | 約3.2kg | 約3.9kg |
| 付属品 | リモコン×1、リモコン用単四形乾電池×2、 mini B-CASカード×1、取扱説明書×1、 保証書×1、スタンド×1、スタンド取付用ネジ×2 | リモコン×1、リモコン用単四形乾電池×2、 mini B-CASカード×1、取扱説明書×1、 保証書×1、スタンド×1、スタンド取付用ネジ×2 |
| 梱包寸法 | 516 (W) × 113 (D) × 373 (H) mm | 640 (W) × 112 (D) × 415 (H) mm |
| 梱包重量 | 約4.2kg | 約4.7kg |

- ※ディスプレイの型は画面寸法を表すものではなく、有効画面の外形体格寸法を基準とした大きさの目安です。
 ※番組表情報をダウンロードするには多少時間がかかります。
 ※年間消費電力量は、省エネ法に基づいた算定式で算出した、一年間に使用する電力量です。
 ※区分名は、省エネ法ではテレビの画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいて区分を行っており、表示はその名称になります。
 ※製品改善の為に予告なく外観、仕様を変更する場合がありますので、ご了承ください。
- CATV(ケーブルテレビ)でデジタル放送をご覧のお客様は、ご契約されているケーブルテレビ会社の伝送方式をご確認ください。
各ケーブルテレビ会社によって、伝送方式が異なります。
 - 本製品はモデム/LANは搭載されておりません。
そのため双方向番組サービス、連動データ放送はご利用になれません。ご了承ください。
 - 本取扱説明書に記載されている企業名、製品名等は各社の商標または登録商標です。
また、商標及び登録商標に関して特に注記のない場合でも、これを尊重します。

本製品に関するお問い合わせおよび修理に関するお問い合わせ

ネクシオン サポートセンター

TEL.0570-022-336

<受付時間> 10:00~17:00(土日祝祭日、年末年始、当社休業日を除く)

<住所> 〒339-0072 埼玉県さいたま市岩槻区古ヶ場2-7-9篠崎運輸 古ヶ場センター内

<E-mail> support@nexxion.jp

- 本製品には、保証書がついています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入のないものは保証対象外となりますので、ご使用前に必ずご確認ください。
- 本製品ならびに本書は、改善の為に予告なく変更する場合がございます。
- 本書の内容の一部、または全ての無断転載を禁じます。
- 本製品の仕様、故障によって生じた直接、間接の損害につきましては当社はその責任を負わないものとします。
- 本書に乱丁、落丁があった場合は、お取り換え致します。
販売店、またはサポートセンターにご連絡ください。

ソフトウェアのライセンス情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本製品は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しての問い合わせは、弊社サポートセンターへお願いいたします。

また、本製品のソフトウェアコンポーネントには、第三者が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、開発者の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない開発者が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本製品は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、“as is”（現状）の状態、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけず、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本製品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文（英文）

| 対応ソフトウェアモジュール | |
|-------------------------|-----------|
| Linux Kernel Busybox | Exhibit A |
| Glibc Gcc | Exhibit B |
| Malloc | Exhibit C |
| Yamon | Yamon |
| | Access |

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

ライセンスおよび商標などについて

- (ロゴ) 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFrontBrowser を搭載しています。ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。©2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- (ロゴ) HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

本書取り扱い上の条件

- 本資料に掲載されているハードウェア、ソフトウェアおよびシステム（以下、本資料という）に関する情報等、本資料の掲載内容は、技術の進歩などにより予告なしに変更されることがあります。
- 本資料に掲載してある技術情報は、資料の代表的動作・応用を説明するためのもので、その使用に際して当社及び第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。
- 文書による当社の事前の承諾なしに本資料の転載複製を禁じます。また、文書による当社の事前の承諾を得て本資料を転載複製する場合でも、記載内容に一切変更を加たり、削除してはいけません。
- 書面による契約またはお客様と当社が合意した仕様書がない限り、当社は、本資料および技術情報に関して、明示的にも黙示的にも一切の保証（機能動作の保証、商品性の保証、特定目的への合致の保証、情報の正確性の保証、第三者の権利の非侵害保証を含むがこれに限らない。）をしておりません。
- 本資料をご使用頂く場合は、本資料の誤作動や故障により生命・身体・財産が侵害されることのないように、お客様の責任において、お客様のハードウェア・ソフトウェア・システムに必要な安全設計を行うことをお願いします。なお、設計および使用に際しては、本資料に関する最新の情報（本資料、仕様書、データシート、アプリケーションノート、半導体信頼性ハンドブックなど）および本資料が使用される機器の取扱説明書、操作説明書などをご確認の上、これに従ってください。また、上記資料などに記載の資料データ、図、表などに示す技術的な内容、プログラム、アルゴリズムその他応用回路例などの情報を使用する場合は、お客様の資料単独およびシステム全体で十分に評価し、お客様の責任において適用可否を判断してください。
- 本資料に元ついでお客様の開発されたシステム全体は 弊社との書面による同意が無ければ第三者への譲渡、移転することは出来ません。
- 本資料は、一般的電子機器（コンピュータ、パーソナル機器、事務機器、計測機器、産業用ロボット、家電機器など）または本資料に個別に記載されている用途に使用されることが意図されています。本資料は、特別に高い品質・信頼性が要求され、またはその故障や誤作動が生命・身体に危害を及ぼす恐れ、膨大な財産損害を引き起こす恐れ、もしくは社会に深刻な影響を及ぼす恐れのある機器（以下“特定用途”という）に使用されることは意図されていませんし、保証もされていません。特定用途には原子力関連機器、航空・宇宙機器、医療機器、車載・輸送機器、列車・船舶機器、交通信号機器、燃焼・爆発制御機器、各種安全関連機器、昇降機器、電力機器、金融関連機器などが含まれます。本資料に個別に記載されている場合を除き、本資料を特定用途に使用しないでください。
- 本資料を、国内外の法令、規則及び命令により、製造、使用、販売を禁止されている資料に使用することはできません。
- 本資料、または本資料に掲載されている技術情報を、大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的、あるいはその他軍事用途の目的で使用しないでください。また、輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」、「米国輸出管理規則」等、適用ある輸出関連法令を遵守し、それらの定めるところにより必要な手続を行ってください。
- 本資料の RoHS 適合性など、詳細につきましては資料個別に必ず弊社営業窓口までお問合せください。本資料のご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用ある環境関連法令を十分調査の上、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright ©1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation’s software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author’s protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors’ reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone’s free use or not licensed at all. The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The “Program”, below, refers to any such program or work, and a “work based on the Program” means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.) Each licensee is addressed as “you”.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program’s source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; Keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, does not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients’ exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/ donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/ or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software

Foundation, Inc., 59 Temple

Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright c 19yy name of author

Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse clicks or menu items - whatever suits your program.

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary.

Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software - to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages - typically libraries - of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can re-link them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/ or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program.

We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder.

Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers less of an advantage over

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

competing non free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License. In other cases, permission to use a particular library in non free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/ Linux operating system. Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables. The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library. In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications. You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.

You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/ or source code, so that the user can modify the Library and then re link to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James andom Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Exhibit C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc / free / realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)

Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at

ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c

Check before installing!

YAMON;

SOFTWARE LICENSE AGREEMENT ("Agreement")

IMPORTANT- This Agreement legally binds you (either an individual or an entity), the end user ("Licensee"), and MIPS Technologies, Inc. ("MIPS") whose street address and fax information is 1225 Charleston Road, Mountain View,

California 94043. Fax Number (650) 567-5154.

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

1. DEFINITIONS-

The following definitions apply to this Agreement: "Authorized Product" shall mean a product developed by MIPS or under a license that was granted by MIPS.

"Documentation" shall mean documents (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion), and any information, whether in written, magnetic media, electronic or other format, provided to Licensee describing the Software, its operation and matters relating to its use.

"GPL Materials" shall mean any source or object code provided by MIPS to Licensee under the terms of the GNU General Public License, Version 2, June 1991 or later ("GNU GPL").

"IP Rights" shall mean intellectual property rights including, but not limited to, patent, copyright, trade secret and mask work rights.

"Licensee Code Modifications" shall mean any modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS, made by or on behalf of Licensee.

"MIPS Code Modifications" shall mean modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS or any third party licensed by MIPS, wherein such third party grants back to MIPS a license under such code modifications with the rights to sublicense and grant further sublicenses.

"MIPS Deliverables" shall mean the Software, Documentation and any other information or materials provided by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement except for GPL Materials.

"Software" shall mean software containing YAMON Code, any other source and/or object code provided by MIPS at its sole discretion, and any Documentation contained in such software at MIPS' sole discretion.

"YAMON Code" shall mean source and/or object code for the YAMON monitor software, Ver. 1.01, or later (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion).

2. MIPS LICENSE GRANTS

(a) Subject to Licensee's compliance with the terms and conditions of this Agreement and payment of any fees owed to MIPS, MIPS grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license to:

(i) use the MIPS Deliverables at Licensee's facilities solely for Licensee's internal evaluation and development purposes (and to use, copy and reproduce and have reproduced Documentation solely to facilitate those uses of MIPS Deliverables that are allowed hereunder), and to sublicense Licensee's rights granted in this Subsection 2(a) (i) to Licensee's consultants for their use of the MIPS Deliverables at their facilities for their internal evaluation and development purposes;

(ii) make, use, import, copy, reproduce, have reproduced, modify, create derivative works from YAMON Code only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and to sublicense its rights granted in this Subsection 2(a)(ii), including the right to grant further sublicenses, provided that with respect to any sublicensee, (A) any IP Rights arising in any modification or derivative work created by such sublicensee shall be licensed back to MIPS together with the right by MIPS to sublicense such rights and grant further sublicenses, and (B) the obligations of Subsection 2(c) below shall apply equally to any YAMON Code modified and/or sublicensed by such sublicensee. These obligations shall be deemed to have been satisfied by Licensee's delivery of a copy of this Agreement to its sublicensee(s).

(b) MIPS further grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license under MIPS' IP Rights in any MIPS Code Modifications in existence now or at any time during the term of this Agreement (including those IP Rights assigned to MIPS or licensed to MIPS with sufficient sublicensing rights to satisfy the license grant in this Subsection 2(b)) to the limited extent that Licensee may make, use and import such MIPS Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Subsection 2(b), including the right to grant further sublicenses under the preconditions set forth in Subsection 2(a)(ii) above. Licensee acknowledges and agrees that MIPS (or any third party) is under no obligation to deliver MIPS Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by Licensee or any sublicensee thereof.

(c) Any YAMON Code modified and/or sublicensed pursuant to this Agreement must (i) contain all copyright and other notices contained in the original YAMON Code provided by MIPS to Licensee, (ii) cause modified files to carry prominent notices stating that Licensee (or any sublicensee) changed the files and the date of any change, and (iii) be sublicensed under terms that disclaim all warranties from MIPS and limit all liability of MIPS pursuant to Sections 8, 9, 11 and 12 herein. (d) All other rights to the MIPS Deliverables not stated in this Section 2 are reserved to MIPS. Except as set out in this Section 2, Licensee shall not rent, lease, sell, sublicense, assign, loan, or otherwise transfer or convey the MIPS Deliverables to any third party. These license grants are effective as of the Effective Date. No license is granted for any other purpose. (e) To the extent MIPS provides any GPL Materials to Licensee, use of such materials shall, notwithstanding any provision of this Agreement to the contrary, be governed by the GNU GPL.

3. LICENSEE CODE MODIFICATIONS

In partial consideration for the rights and licenses granted under Section 2 herein, Licensee agrees to grant and does hereby grant to MIPS a perpetual, irrevocable, non-exclusive worldwide, royalty-free, fully-paid limited right and

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

license under Licensee's IP Rights in any Licensee Code Modifications (including those IP Rights assigned to Licensee or licensed to Licensee with sufficient sublicensing right to satisfy the license grant in this Section 3) to the extent that MIPS may make, use and import such Licensee Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Section 3, including the right to grant further sublicenses. MIPS acknowledges and agrees that Licensee (or any third party) is under no obligation to deliver Licensee Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by MIPS or any sublicensee thereof.

4. OWNERSHIP AND PREVENTION OF MISUSE OF MIPS DELIVERABLES

(a) This Agreement does not confer any rights of ownership in or to the MIPS Deliverables to Licensee; Licensee does not acquire any rights, express or implied, in the MIPS Deliverables other than those specified in Section 2 above. Licensee agrees that all title and IP Rights in the MIPS Deliverables remain in MIPS (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee agrees that it shall take all reasonable steps to prevent unauthorized copying of the MIPS Deliverables.

(b) MIPS owns all right, title and interest in the YAMON Code and other MIPS Deliverables (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee shall own all right, title and interest in the modifications and derivative works of the YAMON Code created by Licensee, subject to MIPS' rights in the underlying original YAMON Code as provided under this Agreement.

(c) Licensee agrees to provide reasonable feedback to MIPS including, but not limited to, usability of the MIPS Deliverables. All feedback made by Licensee shall be the property of MIPS and may be used by MIPS for any purpose.

(d) Licensee shall make all reasonable efforts to discontinue distribution, copying and use of any MIPS Deliverables that are replaced by a new, upgraded or updated version of any such MIPS Deliverables, including distribution to any sublicensee of such new, upgraded or updated versions.

(e) Licensee shall not make any statement of any kind or in any format, that any MIPS Deliverable is certified, or that its performance in connection with any product is warranted, indemnified or guaranteed in any way by MIPS or any party on MIPS' behalf. (f) Neither YAMON, MIPS nor any other trademark owned or licensed in by MIPS may be used by Licensee, any sublicensee thereof or any party on their behalf without prior written consent by MIPS, including at MIPS' sole discretion a trademark license agreement preapproved by MIPS.

5. ASSIGNMENT

Licensee may not assign or otherwise transfer any of its rights or obligations under this Agreement to any third party without MIPS' prior written consent, and any attempt to do so will be null and void. This prohibition against Licensee's assignment shall apply even in the event of merger, re-organization, or when a third party purchases all or substantially all of Licensee's assets. Subject to the foregoing, this Agreement will be binding upon and will inure to the benefit of the parties and their respective permitted successors and assigns.

6. LIMITATIONS OF MIPS' SUPPORT-RELATED OBLIGATIONS

This Agreement does not entitle Licensee to hard-copy documentation or to support, training or maintenance of any kind from MIPS, including documentary, technical, or telephone assistance.

7. TERM AND TERMINATION

(a) This Agreement shall commence on the Effective Date. If Licensee fails to perform or violates any obligation under this Agreement, then upon thirty (30) days written notice to Licensee specifying such default (the "Default Notice"), MIPS may terminate this Agreement without liability, unless the breach specified in the Default Notice has been cured within the thirty (30) day period. This 30-day period may be extended upon mutual, written consent between the parties.

(b) Upon the termination of this Agreement due to Licensee's material breach hereof, Licensee shall (1) immediately discontinue use of the MIPS Deliverables, (2) promptly return all MIPS Deliverables to MIPS, (3) destroy all copies of MIPS Deliverables made by Licensee, and (4) destroy all copies of derivative works of MIPS Deliverables made by Licensee while in breach of this Agreement. All licenses granted hereunder shall terminate as of the effective date of termination.

(c) The rights and obligations under this Agreement which by their nature should survive termination, including but not limited to Sections 3 - 16, will remain in effect after expiration or termination hereof. Subject to Licensee's compliance with the surviving sections of this Agreement identified herein, any sublicenses rightfully granted and derivative works rightfully developed pursuant to Section 2 shall survive the termination of this Agreement.

8. DISCLAIMER OF WARRANTIES THE MIPS DELIVERABLES ARE PROVIDED "AS IS". MIPS MAKES NO WARRANTIES WITH REGARD TO ANY OF THE MIPS DELIVERABLES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, STATUTORY OR OTHERWISE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF TITLE, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.

9. LIMITATION OF LIABILITY AND REMEDY

(a) Licensee acknowledges the MIPS Deliverables are provided to Licensee only for the purpose set forth in Section 2. Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims or defenses based on the sublicensing, use, copying, installation, demonstration and/or modification of any of the MIPS

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

Deliverables by Licensee, any sublicensee of Licensee or any party on their behalf. Licensee shall have sole responsibility for adequate protection and backup of any data and/or equipment used with the MIPS Deliverables, and Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims and defenses for lost data, re-run time, inaccurate output, work delays or lost profits resulting from use and/or modification of the MIPS Deliverables, or any portion thereof, under this Agreement. Licensee expressly acknowledges and agrees that any research or development performed with respect to the MIPS Deliverables is done entirely at Licensee's own risk.

(b) NEITHER PARTY SHALL BE LIABLE TO THE OTHER PARTY OR TO ANY THIRD PARTY FOR ANY DAMAGES INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, INDIRECT, EXEMPLARY OR INCIDENTAL DAMAGES, WHETHER SUCH DAMAGES ARISE UNDER A TORT, CONTRACT OR OTHER CLAIM, OR DAMAGES TO SYSTEMS, DATA OR SOFTWARE, EVEN IF SUCH PARTY HAS BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION ON LIABILITY SHALL SURVIVE EVEN IF THE LIMITED REMEDY PROVIDED HEREIN FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE. IN NO CASE WILL MIPS' LIABILITY FOR DAMAGES UNDER THIS AGREEMENT EXCEED THE AMOUNTS RECEIVED BY MIPS AS FEES UNDER THIS AGREEMENT.

10. WAIVER; MODIFICATION

Any waiver of any right or default hereunder will be effective only in the instance given and will not operate as or imply a waiver of any other or similar right or default on any subsequent occasion. No waiver or modification of this Agreement or of any provision hereof will be effective unless in writing and signed by the party against whom such waiver or modification is sought to be enforced.

11. HAZARDOUS APPLICATIONS

The MIPS Deliverables are not intended for use in any nuclear, aviation, mass transit, medical, or other inherently dangerous application. MIPS EXPRESSLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR SUCH USE. LICENSEE REPRESENTS AND WARRANTS THAT IT WILL NOT USE THE MIPS DELIVERABLES FOR SUCH PURPOSES.

12. SEVERABILITY

In the event any provision of this Agreement (or portion thereof) is determined to be invalid, illegal or otherwise unenforceable, then such provision will, to the extent permitted, not be voided but will instead be construed to give effect to its intent to the maximum extent permissible under applicable law and the remainder of this Agreement will remain in full force and effect according to its terms. IN THE EVENT THAT ANY REMEDY HEREUNDER IS DETERMINED TO HAVE FAILED OF ITS ESSENTIAL PURPOSE, ALL LIMITATIONS OF LIABILITY AND EXCLUSIONS OF DAMAGES SHALL REMAIN IN EFFECT.

13. RIGHTS IN DATA

Licensee acknowledges that all software and software related items licensed by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement are "Commercial Computer Software" or "Commercial Computer Software Documentation" as defined in FAR 12.212 for civilian agencies and DFARS 227.7202 for military agencies, and that in the event that Licensee is permitted under this Agreement to provide such items to the U.S. government, such items shall be provided under terms at least as restrictive as the terms of this Agreement.

14. MISCELLANEOUS

(a) The MIPS Deliverables and GPL Materials may be subject to U.S. export or import control laws and export or import regulations of other countries. Licensee agrees to comply strictly with all such laws and regulations and acknowledges that it has the responsibility to obtain such licenses to export, re-export, or import as may be required after delivery to Licensee. Licensee shall indemnify, defend and hold MIPS harmless from any damages, fees, costs, fines, expenses, charges and any actual or threatened civil and/or criminal claims or defenses arising from any failure of Licensee and/or its customers to comply with any obligations arising under this Section 14(a).

(b) Any notice required or permitted by this Agreement must be in writing and must be sent by email, by facsimile, by recognized commercial overnight courier, or mailed by United States registered mail, effective only upon receipt, to the legal departments of MIPS or Licensee (if Licensee has no legal department, then to an officer of Licensee, a contact person specified by Licensee or Licensee's place of business).

(c) The headings contained herein are for the convenience of reference only and are not intended to define, limit, expand or describe the scope or intent of any clause or provision of this Agreement.

(d) The parties hereto are independent contractors, and nothing herein shall be construed to create an agency, joint venture, partnership or other form of business association between the parties hereto.

(e) Licensee acknowledges that, in providing Licensee with the MIPS Deliverables, MIPS has relied upon Licensee's agreement to be bound by the terms of this Agreement. Licensee further acknowledges that it has read, understood, and agreed to be bound by the terms of this Agreement, and hereby reaffirms its acceptance of those terms.

15. GOVERNING LAW AND JURISDICTION

This Agreement shall be governed by the laws of the State of California, excluding California's choice of law rules. With the exception of MIPS' rights to enforce its intellectual property rights in the MIPS Deliverables, all disputes arising out of this Agreement shall be subject to the exclusive jurisdiction and venue of the state and federal courts located in Santa Clara County, California, and the parties consent to the personal and exclusive jurisdiction and

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

venue of these courts. The parties expressly disclaim the application of the United Nations Convention on the International Sale of Goods to this Agreement.

16. ENTIRE AGREEMENT

This Agreement and the GNU GPL constitute the entire agreement between MIPS and Licensee regarding the MIPS Deliverables and GPL Materials provided to Licensee hereunder, and shall supersede and control over any other prior or contemporaneous shrinkwrap and/or clickwrap agreements regarding the same. Any additions or modifications must be made in a subsequent, written agreement signed by both parties.

オープンソース・ソフトウェア

【オープンソース・ソフトウェアの使用条件が記載された URL】

| | |
|------------|---|
| (a)ijgjpeg | http://www.ijg.org/ |
| (b)zlib | http://www.zlib.net/zlib_license.html |
| (c)libpng | http://www.libpng.org/pub/png/src/libpng-LICENSE.txt |

【本契約締結時点でのオープンソース・ソフトウェアの使用条件】

<Image Decoder Modules>

(a) ijgjpeg

(b) zlib

(c) libpng

(a) ijgjpeg

ijgjpeg License Terms

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files.

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

(b) zlib

zlib License Terms /* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org

Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

*/

(c)libpng

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.18, May 15, 2007, are Copyright (c) 2004, 2006-2007 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux

Eric S. Raymond

Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane

Glenn Randers-Pehrson

Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler

Kevin Bracey

Sam Bushell

Magnus Holmgren

Greg Roelofs

Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

Andreas Dilger

Dave Martindale

Guy Eric Schalnat

Paul Schmidt

Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc.

assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference

Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.

2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

printf("%s",png_get_copyright(NULL));

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson

MEMO

MEMO

